

尾鷲市まちづくりに関するアンケート調査 結果報告書

令和5年7月

【目次】

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査概要	2
3. 報告書の見方	2
II. 調査の結果	3
1. 回答者について	4
2. 本市での生活について	7
3. これからのまちづくりについて	13
4. 暮らしの満足度と今後の重要度について	45

Ⅰ. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は「第7次尾鷲市総合計画」の進行管理にあたり、市民の皆様のご意見を反映すべく、またこれからのまちづくりに関してどう考えているのかを把握するため、毎年アンケート調査を実施しているものです。

2. 調査概要

調査区域 : 尾鷲市全域
調査対象 : 18歳以上80歳以下の市民から1,000人を無作為抽出
調査時期 : 令和5年2月
配布数 : 1,000票
回収数 : 384票
回収率 : 38.4%

3. 報告書の見方

回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

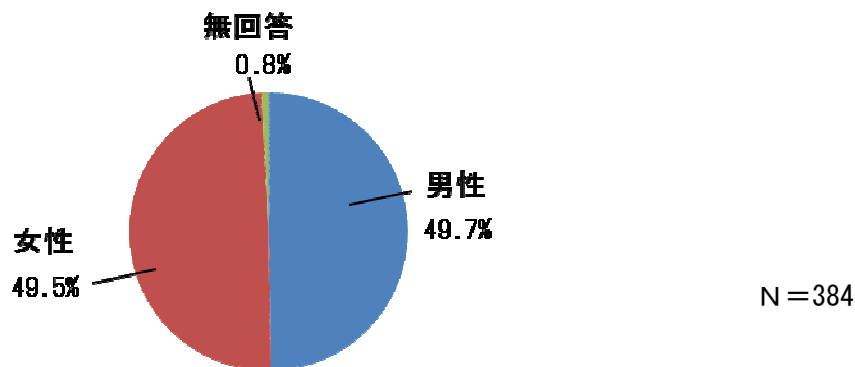
グラフ及び表の「N数 (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

II. 調査の結果

1. 回答者について

問1 あなたの性別をお聞かせください。

回答者の性別は、「男性」が49.7%、「女性」が49.5%、無回答が0.8%となっています。

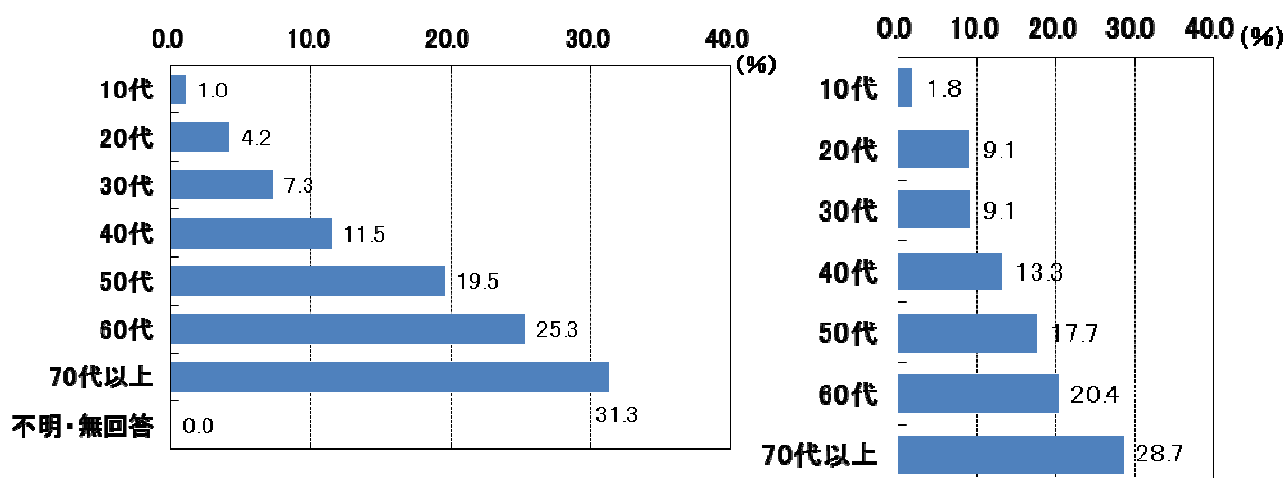


問2 あなたの年齢をお聞かせください。

回答者の年齢は、「60代」が25.3%、「70代以上」が31.3%と、60代以上が約6割を占めています。右図の住民基本台帳の人口割合と比較すると、「60代」と「70代以上」で実際の割合より高く、その他の年代では低くなっています。

N = 384

※調査対象である18歳以上の人口の年齢構成比

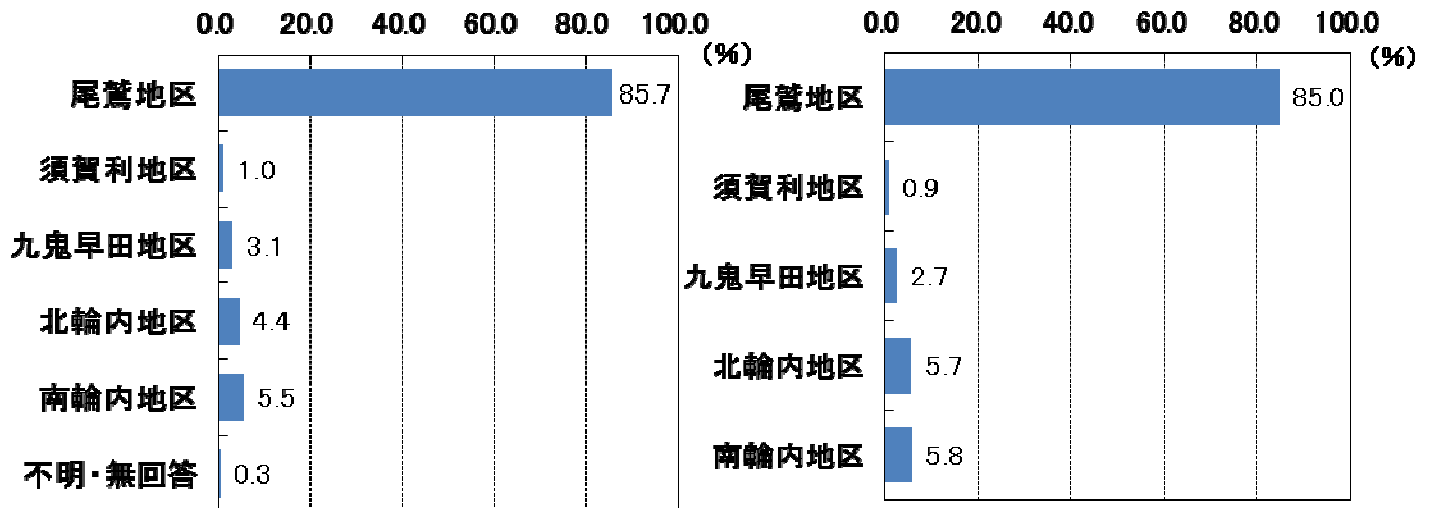


(参考) : 住民基本台帳令和5年1月現在

問3 あなたは、尾鷲市のどの地区にお住まいですか。

回答者の居住地区は、「尾鷲地区」が 85.7%と大半を占めています。右図の住民基本台帳の人口割合と比較しても、ほぼ同じ割合となっています。

N=384

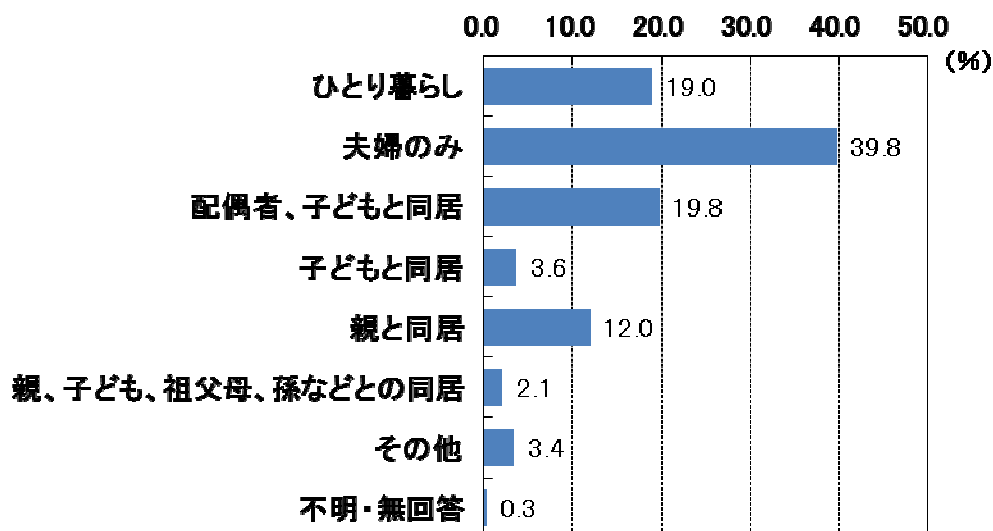


(参考)：住民基本台帳令和5年1月現在

問4 あなたの世帯の状況を教えてください。

回答者の世帯の状況は、「夫婦のみ」が 39.8%、「配偶者、子どもと同居」が 19.8%、「ひとり暮らし」が 19.0%となっています。

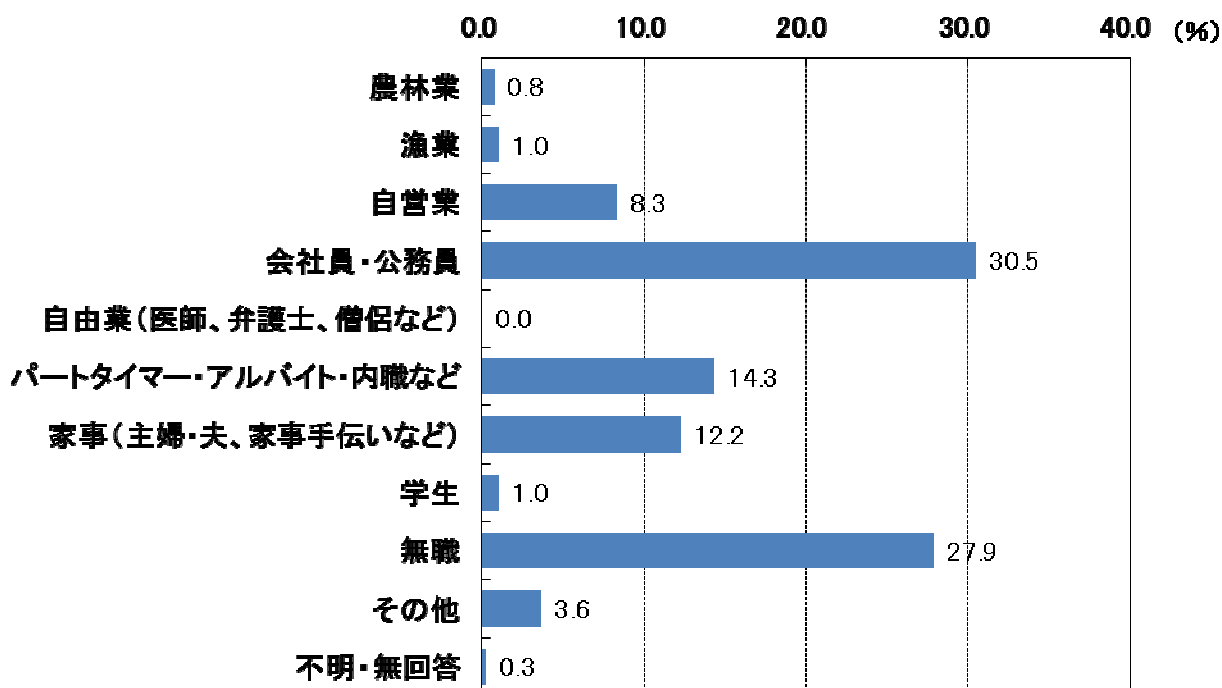
N=384



問5 あなたの主な職業をお聞かせください。

回答者の職業は、「会社員・公務員」が30.5%、「無職」が27.9%、「パートタイマー・アルバイト・内職など」が14.3%となっています。

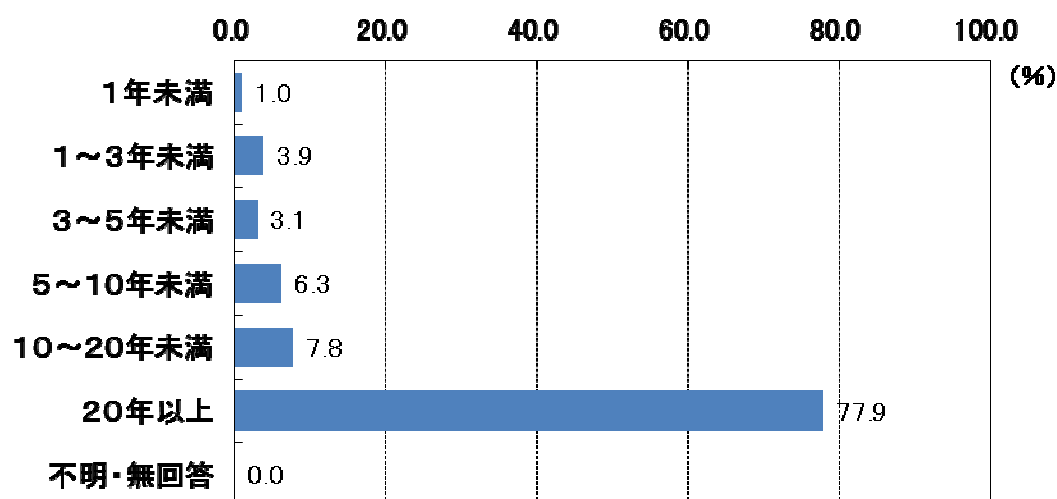
N=384



問6 あなたが尾鷲市にお住まいになってから何年経過していますか。

回答者の居住年数は、「20年以上」が77.9%と大半を占めています。

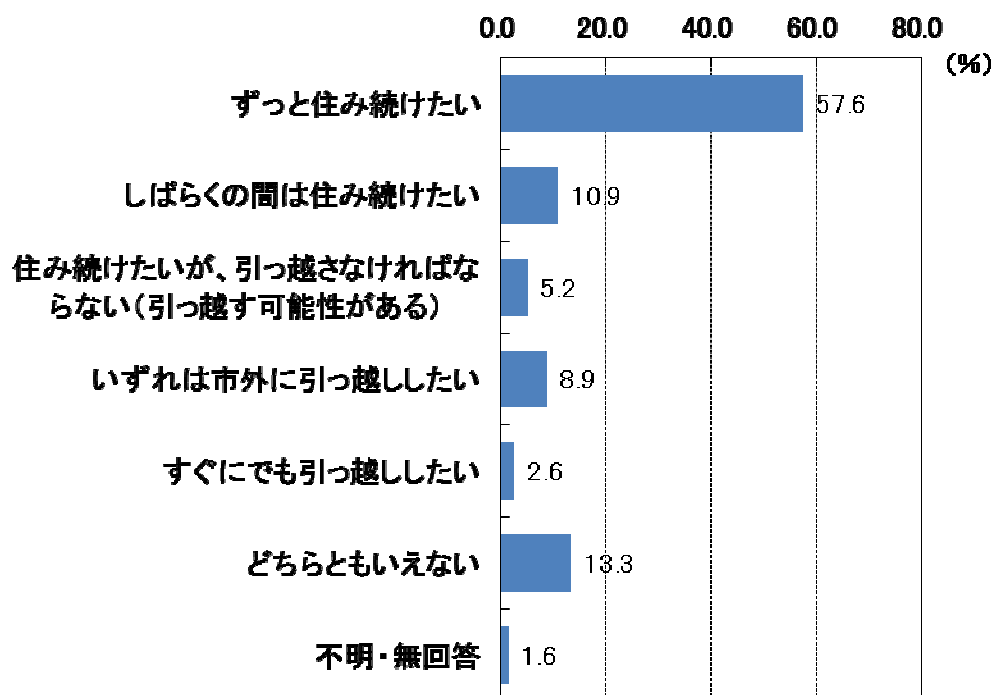
N=384



2. 本市での生活について

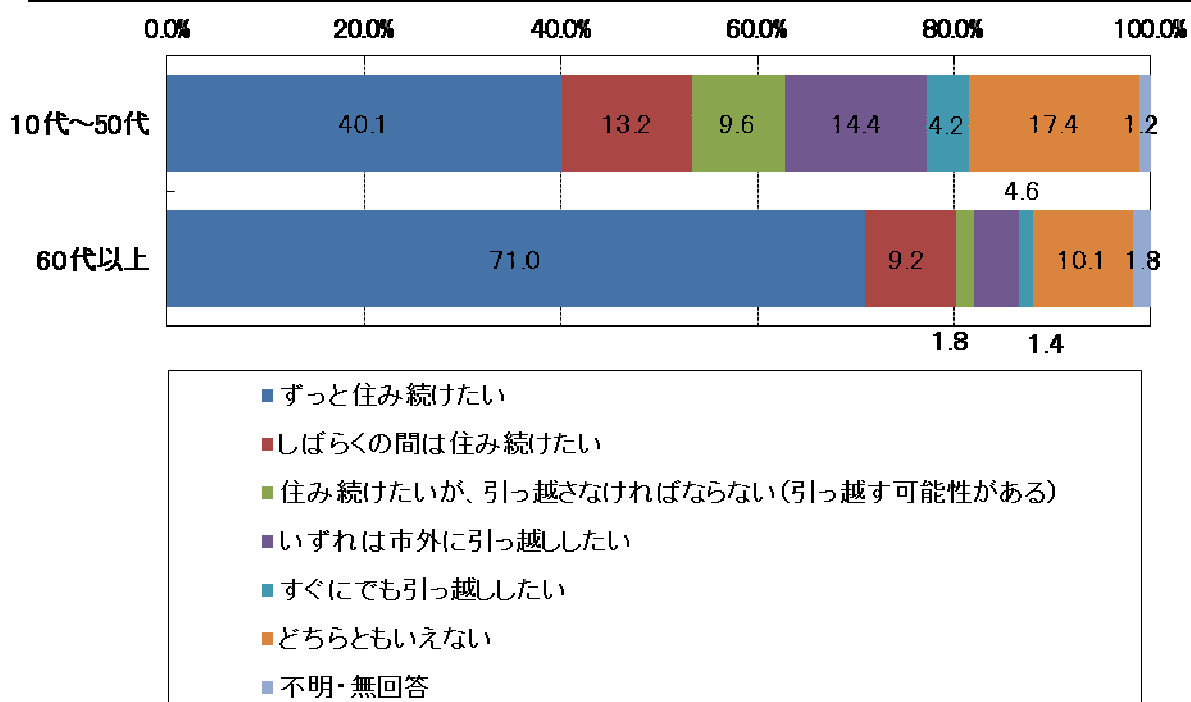
問7 あなたは、これからもずっと尾鷲市に住み続けたいとお考えですか。

定住意向は、「ずっと住み続けたい」が57.6%、「しばらくの間は住み続けたい」が10.9%とあり、「住み続けたい」と答えた方が合計で68.5%と4分の3近くを占めています。



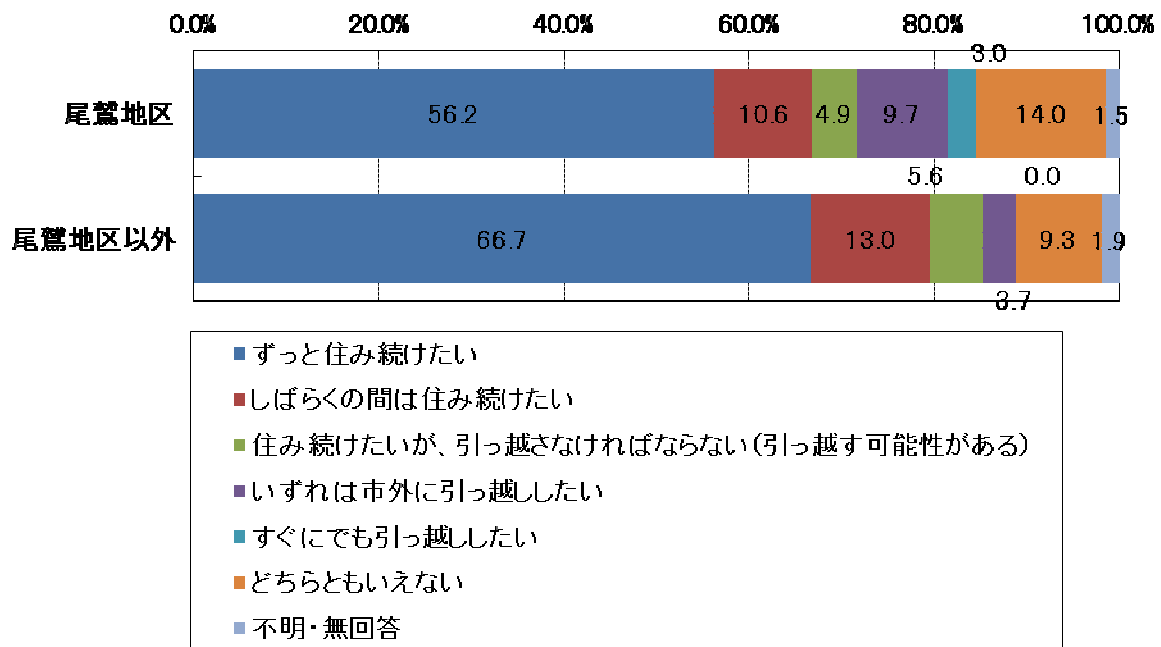
問7×年代

定住意向を年代別に見ると、「ずっと住み続けたい」は、「60代以上」では71.0%であるのに対し、「10代～50代」では40.1%であり、年代による差が見られます。



問7×居住地区

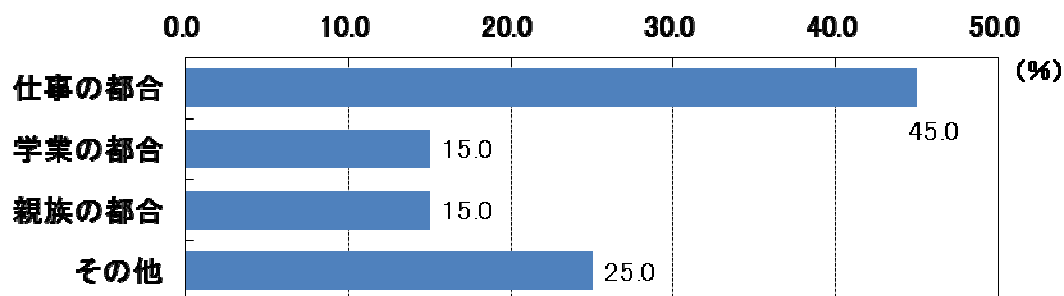
定住意向を地区別に見ると、「ずっと住みたい」は、「尾鷲地区以外」の方が高くなっています。



問8 【問7で「住みたいが、引っ越さなければならない(引っ越す可能性がある)」とお答えになった方におうかがいします。】引っ越す可能性がある理由は何ですか。

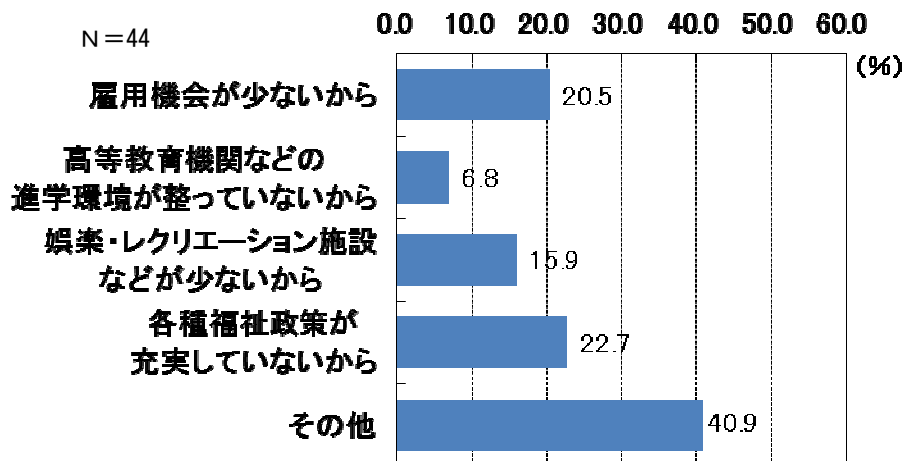
引っ越さなければならない理由は、「仕事の都合」が 45.0%で最も多く、次いで「学業の都合」、「親族の都合」が 15.0%となっています。

N=20



問9 【問7で「いずれは市外に引っ越したい」または「すぐにも引っ越したい」とお答えになった方におうかがいします。】市外に引っ越したい理由は何ですか。

引っ越したい理由は、「各種福祉政策が充実していないから」が22.7%、「雇用機会が少ないから」が20.5%となっています。

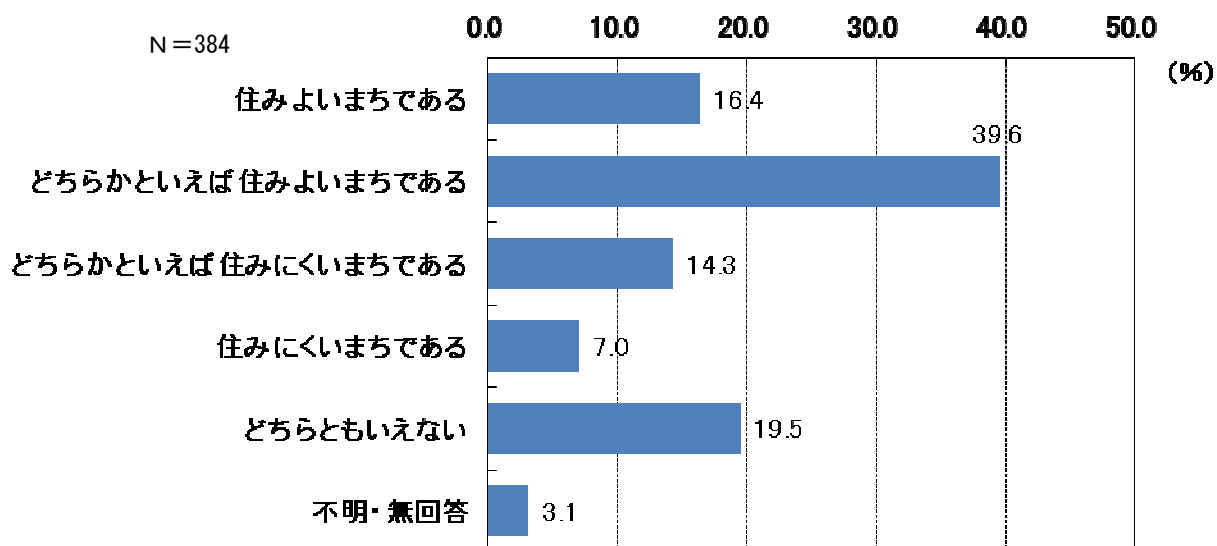


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
子供たちと住みたいから
病院への通院が不便だから
将来の不安があるから

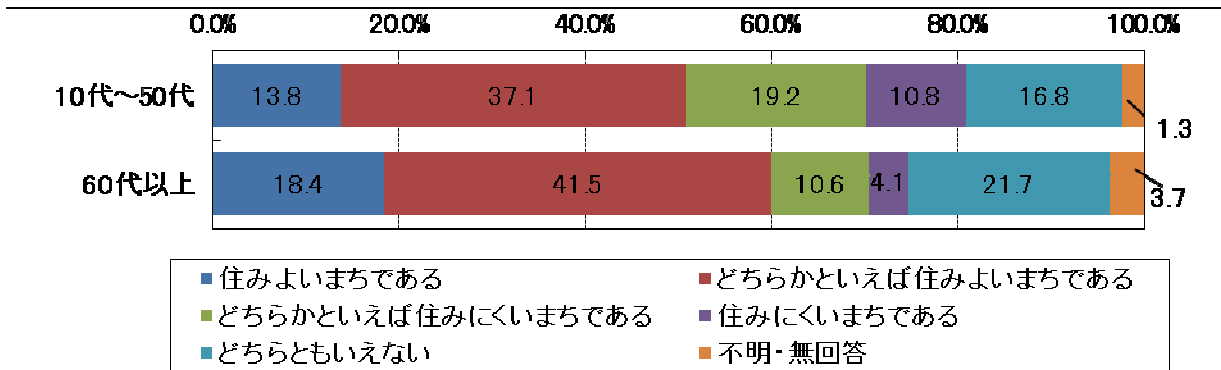
問10 あなたは、尾鷲市を全体としてどのようにお考えですか。

尾鷲市全体の評価として、「どちらかといえば住みよいまちである」が39.6%、「住みよいまちである」が16.4%となっており、合計で56.0%が「住みよいまち」としています。



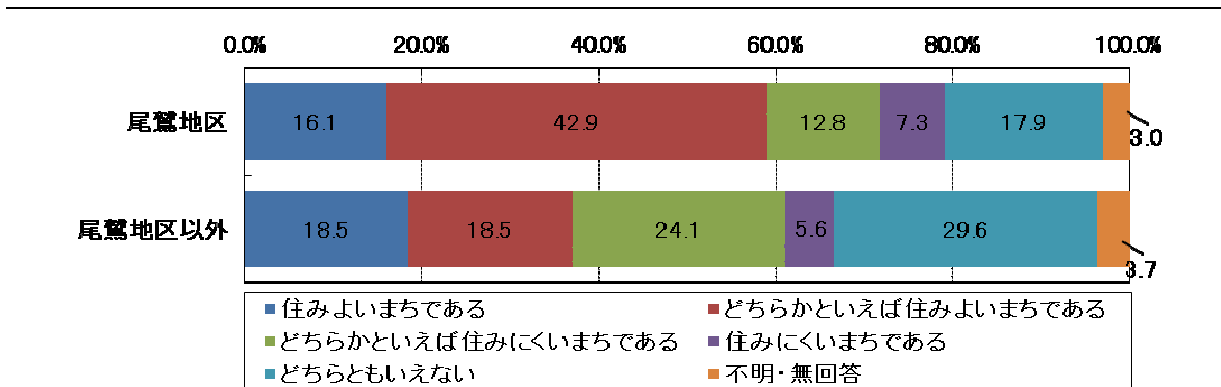
問 10×年代

尾鷲市全体の評価を年代別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、「60代以上」では59.9%であるのに対し、「10代～50代」では50.9%であり、年代による差が見られます。



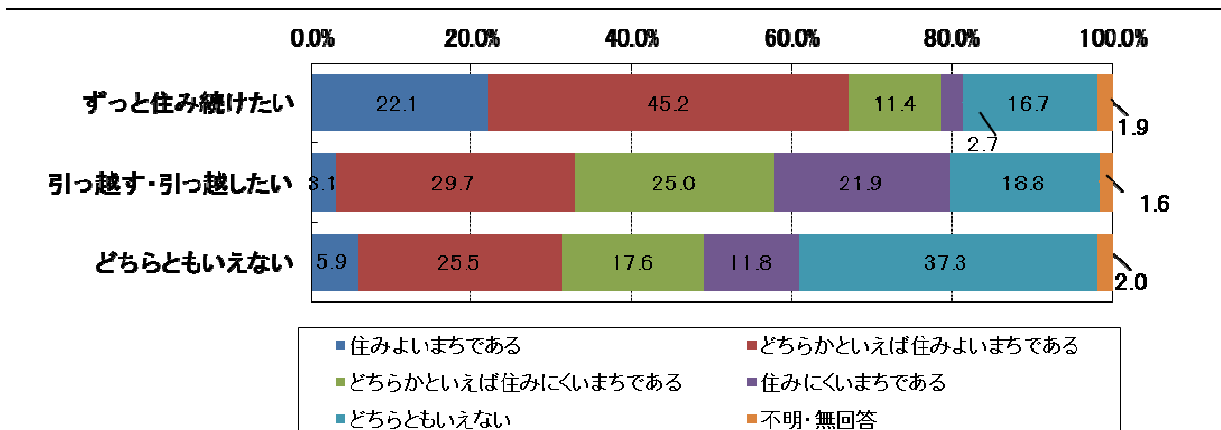
問 10×居住地区

尾鷲市全体の評価を地区別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、尾鷲地区で59.0%、尾鷲地区以外で37.0%であり、尾鷲地区の方が高くなっています。



問 10×定住意向

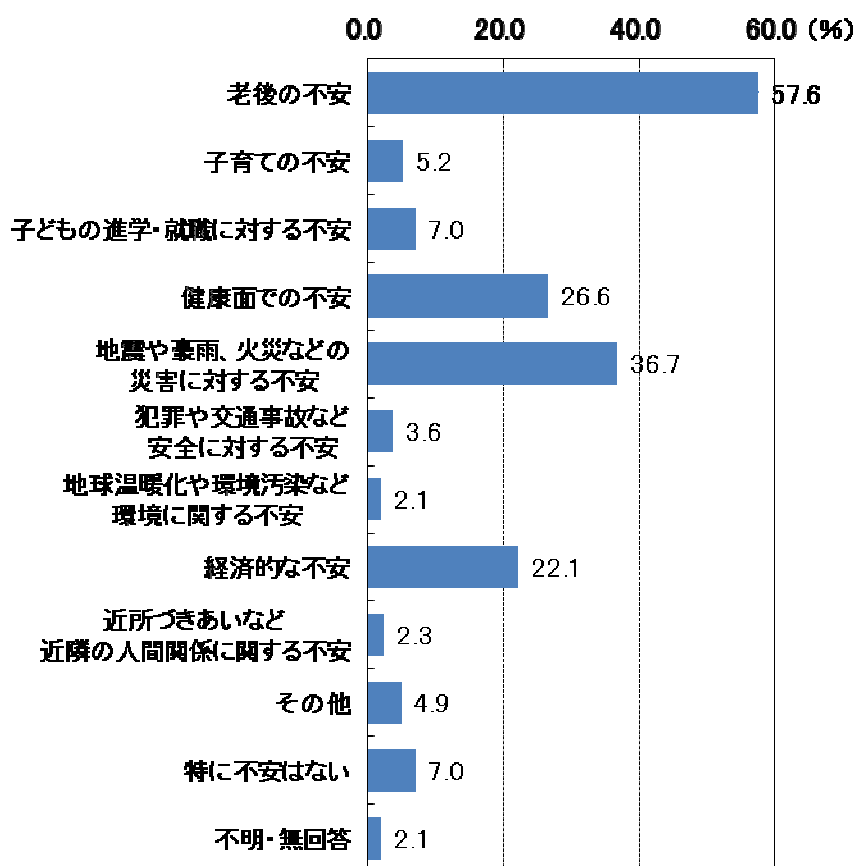
尾鷲市全体の評価を定住意向別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、「ずっと住み続けたい」と答えた方では6割以上となっているのに対し、「引っ越す・引っ越したい」と答えた方では約3割にとどまり、定住意向による差が見られます。



問 11 現在、あなたが不安に感じていることは何ですか。(複数回答)

現在不安に感じていることとして、「老後の不安」が 57.6%、「地震や豪雨、火災などの災害に対する不安」が 36.7%、「健康面での不安」が 26.6%となっています。

N=384

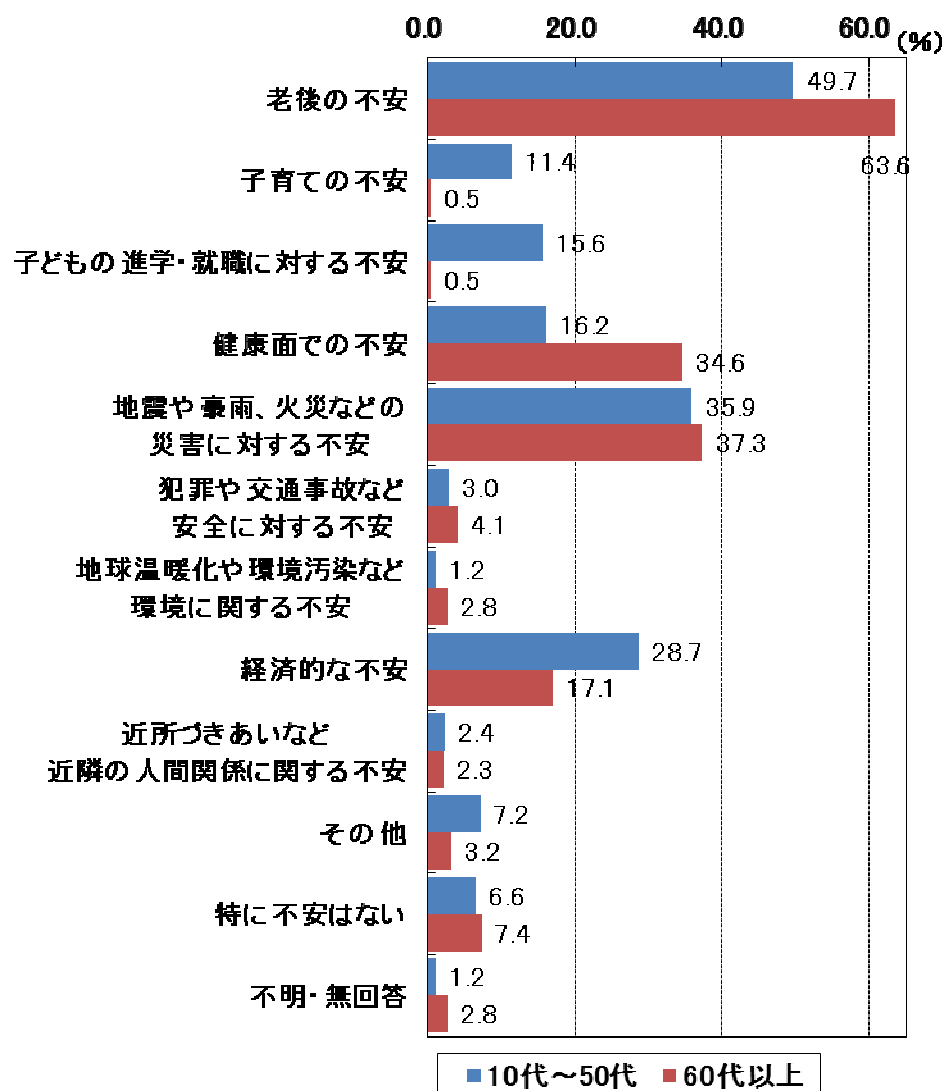


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
人口減少に対する不安
公共交通に対する不安
医療に対する不安
市の将来に対する不安

問 11×年代

現在不安に感じていることを年代別に見ると、全年代で「老後の不安」や「地震や豪雨、火災などの災害に対する不安」の割合が高くなっており、次いで「10代～50代」では「経済的な不安」「健康面での不安」「子どもの進学・就職に対する不安」の割合が高く、「60代以上」では「健康面での不安」「経済的な不安」の割合が高くなっています。

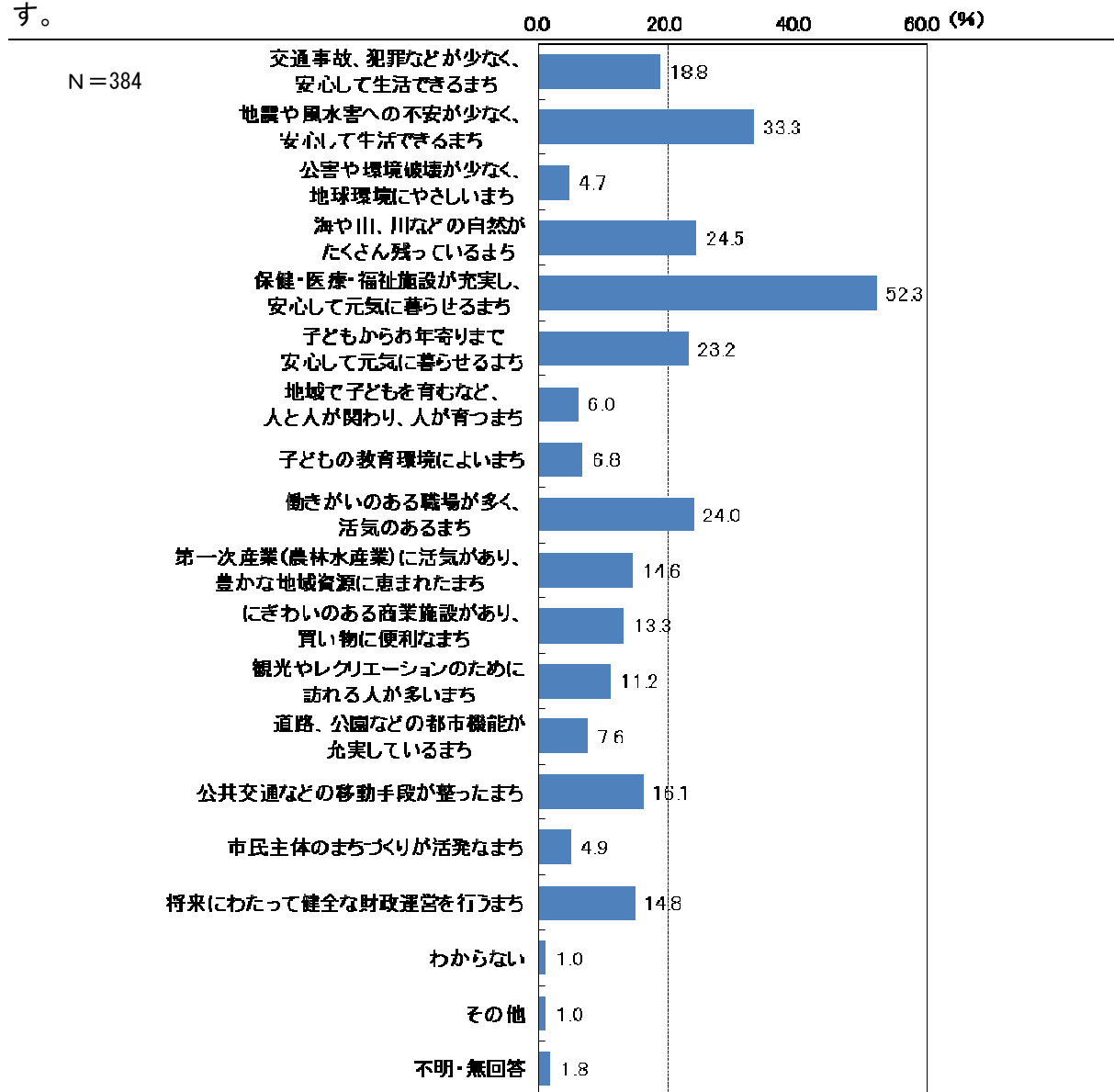


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

3. これからのまちづくりについて

問 12 あなたは、尾鷲市が将来どのようなイメージのまちになってほしいと思いますか。
(複数回答)

尾鷲市の将来イメージで希望するものとして、「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」が 52.3%、「地震や風水害への不安が少なく、安心して生活できるまち」が 33.3%、「海や山、川などの自然がたくさん残っているまち」が 24.5%となっています。

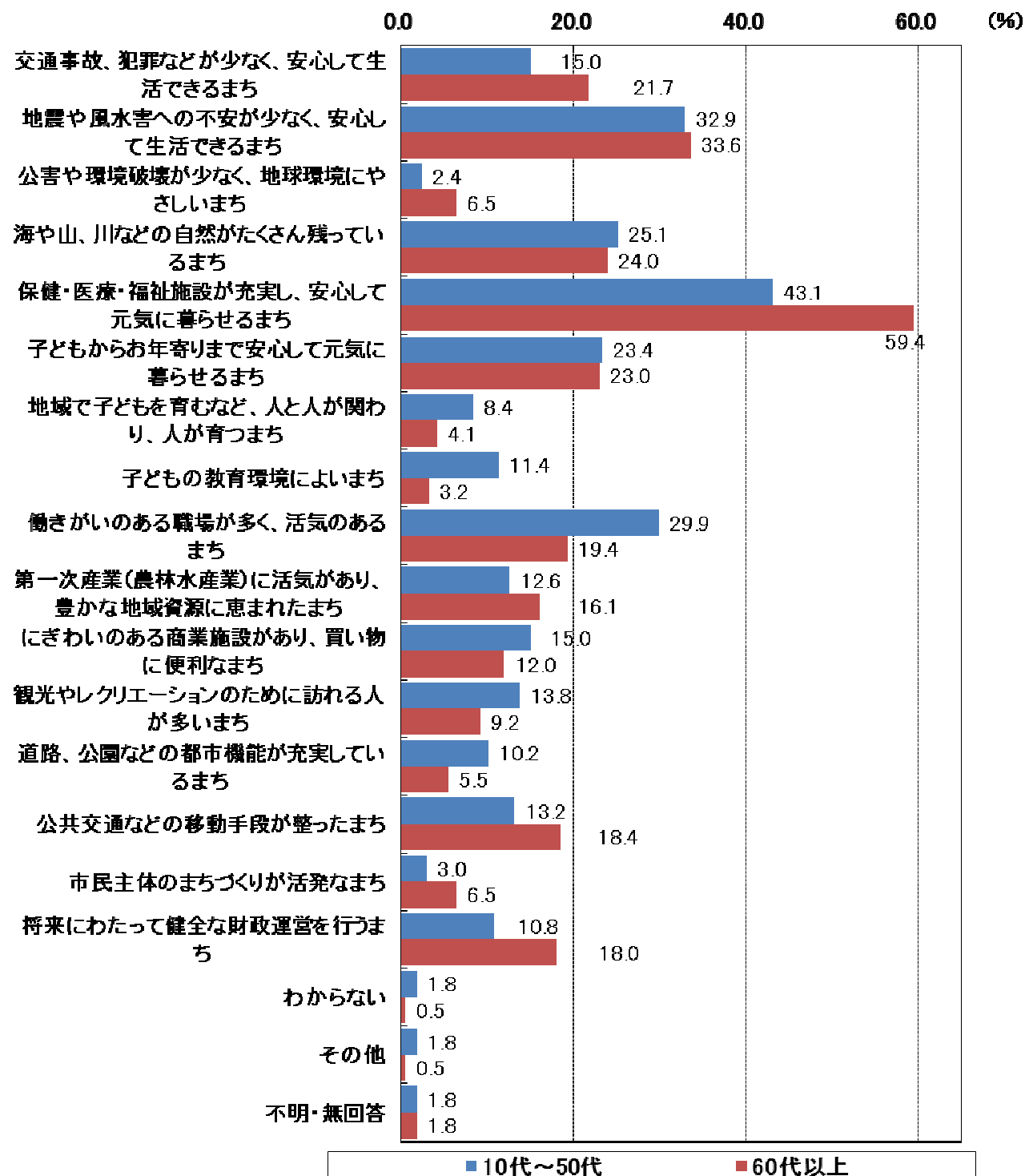


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
福祉が充実したまち
施設が充実しているまち

問 12×年代

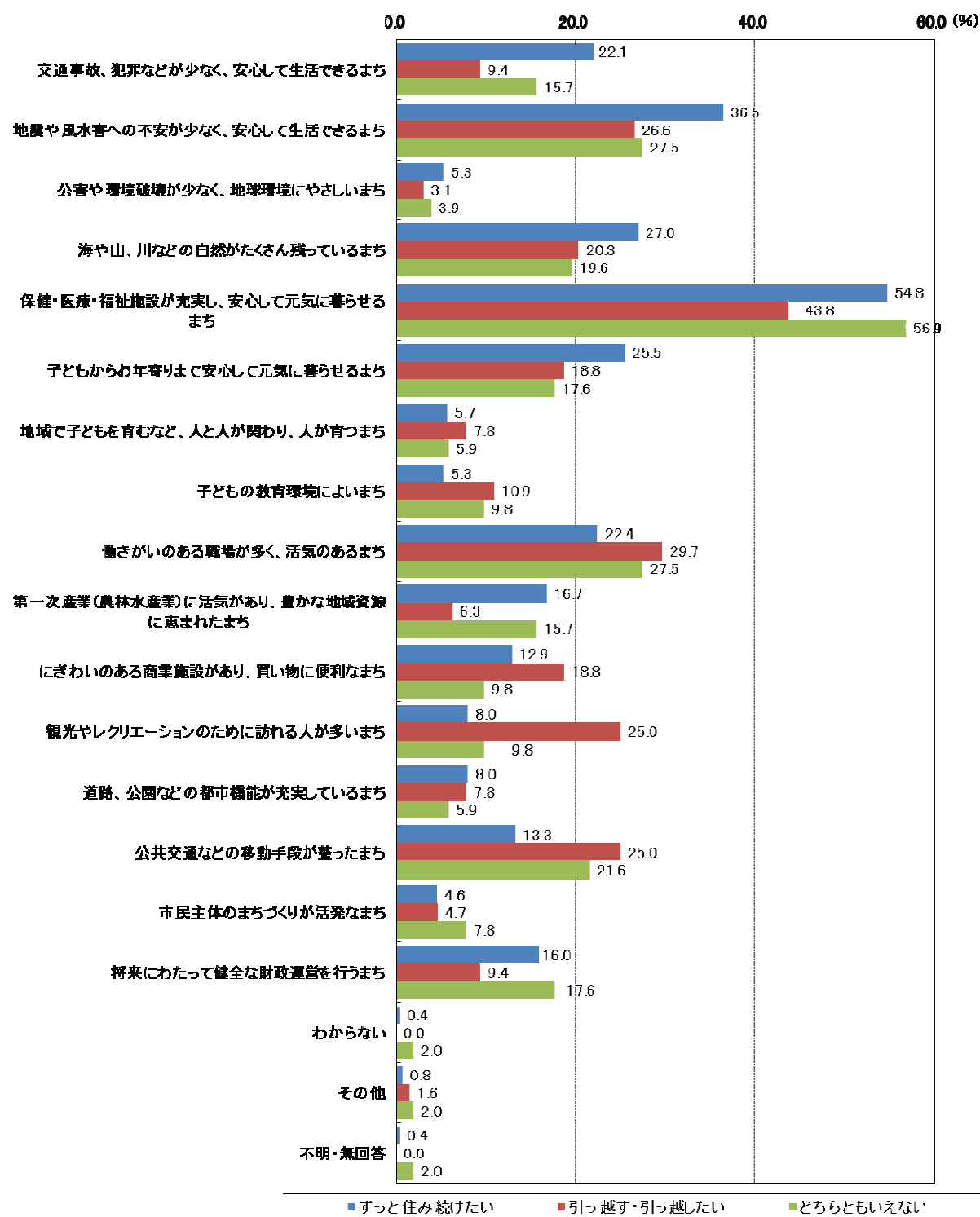
尾鷲市の将来イメージで希望するものを年代別に見ると、全年代で「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」の割合が高くなっており、次いで「地震や風水害への不安が少なく、安心して生活できるまち」の割合が高くなっており、次いで「地震や風水害への不安が少なく、安心して生活できるまち」の割合が高くなっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

問 12×定住意向

尾鷲市の将来イメージで希望するものを定住意向別に見ると、「ずっと住み続けたい」「引っ越す・引っ越したい」「どちらともいえない」という、全ての定住意向において「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」の割合が最も高くなっています。

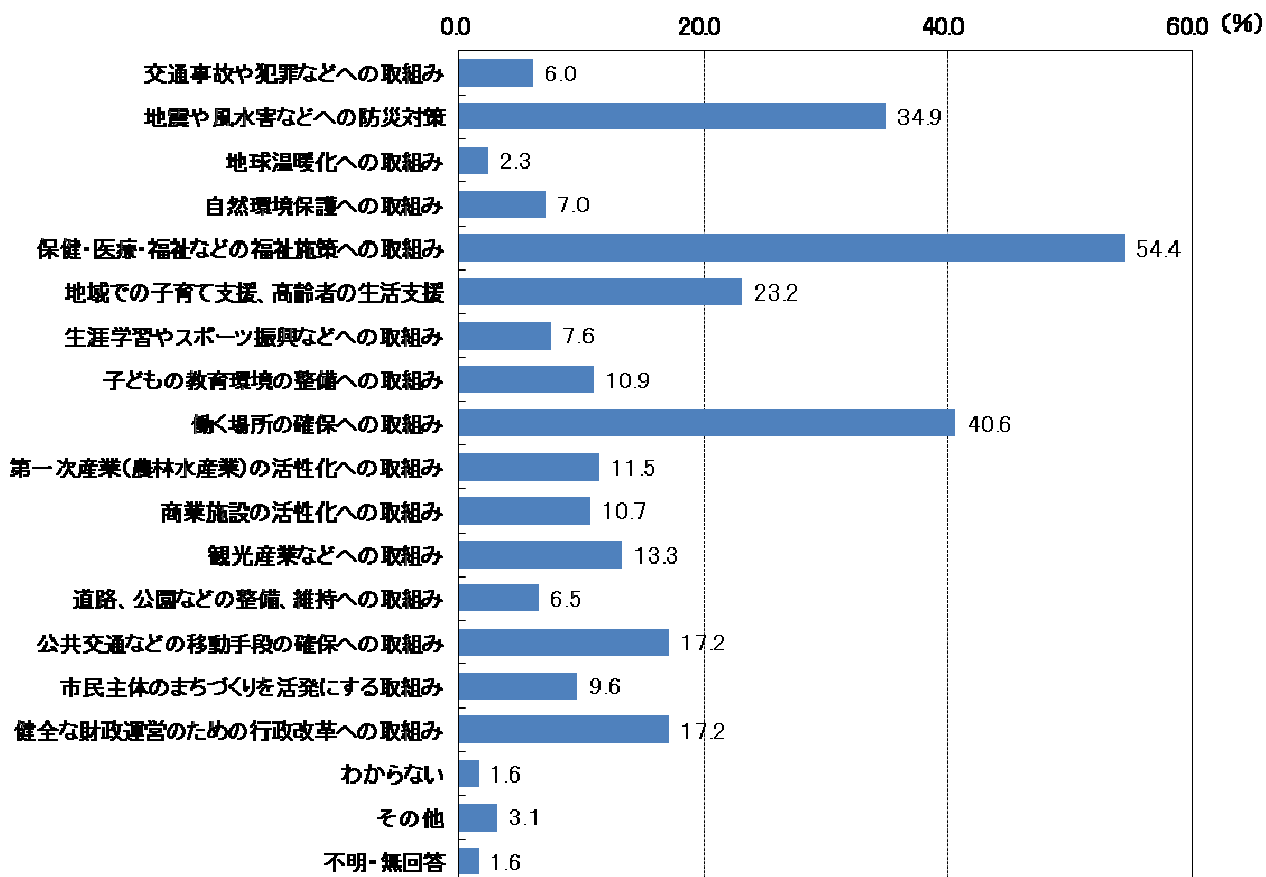


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

問 13 あなたは、尾鷲市がこれからまちづくりを進めるうえで、市が積極的に進めるべき取り組みは何であるとお考えですか。(複数回答)

これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みとして、「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」が54.4%、「働く場所の確保への取り組み」が40.6%、「地震や風水害などへの防災対策」が34.9%となっています。

N=384

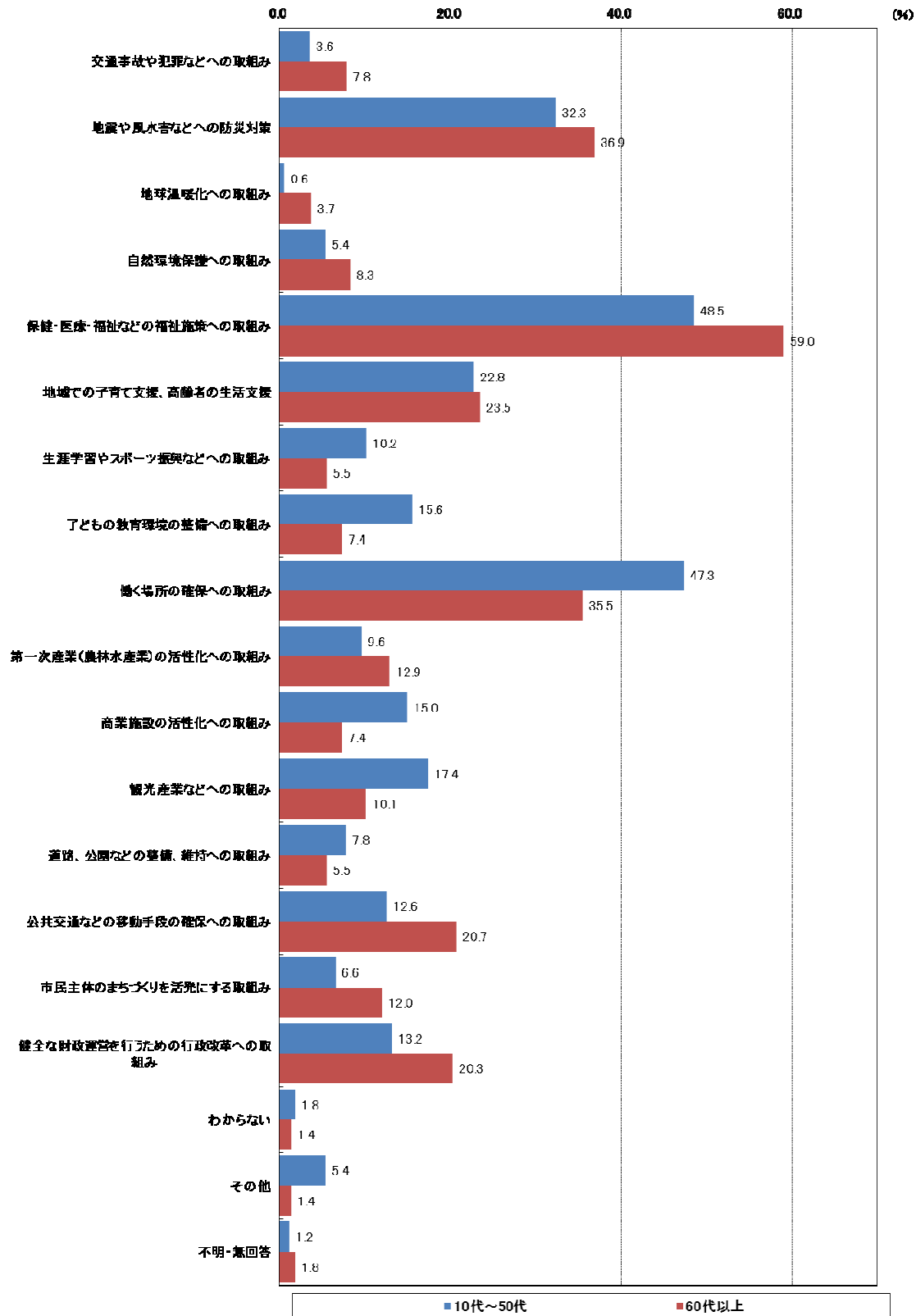


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
高齢者が健康を意識するような取り組み
労働力確保の取り組み
医療充実への取り組み

問 13×年代

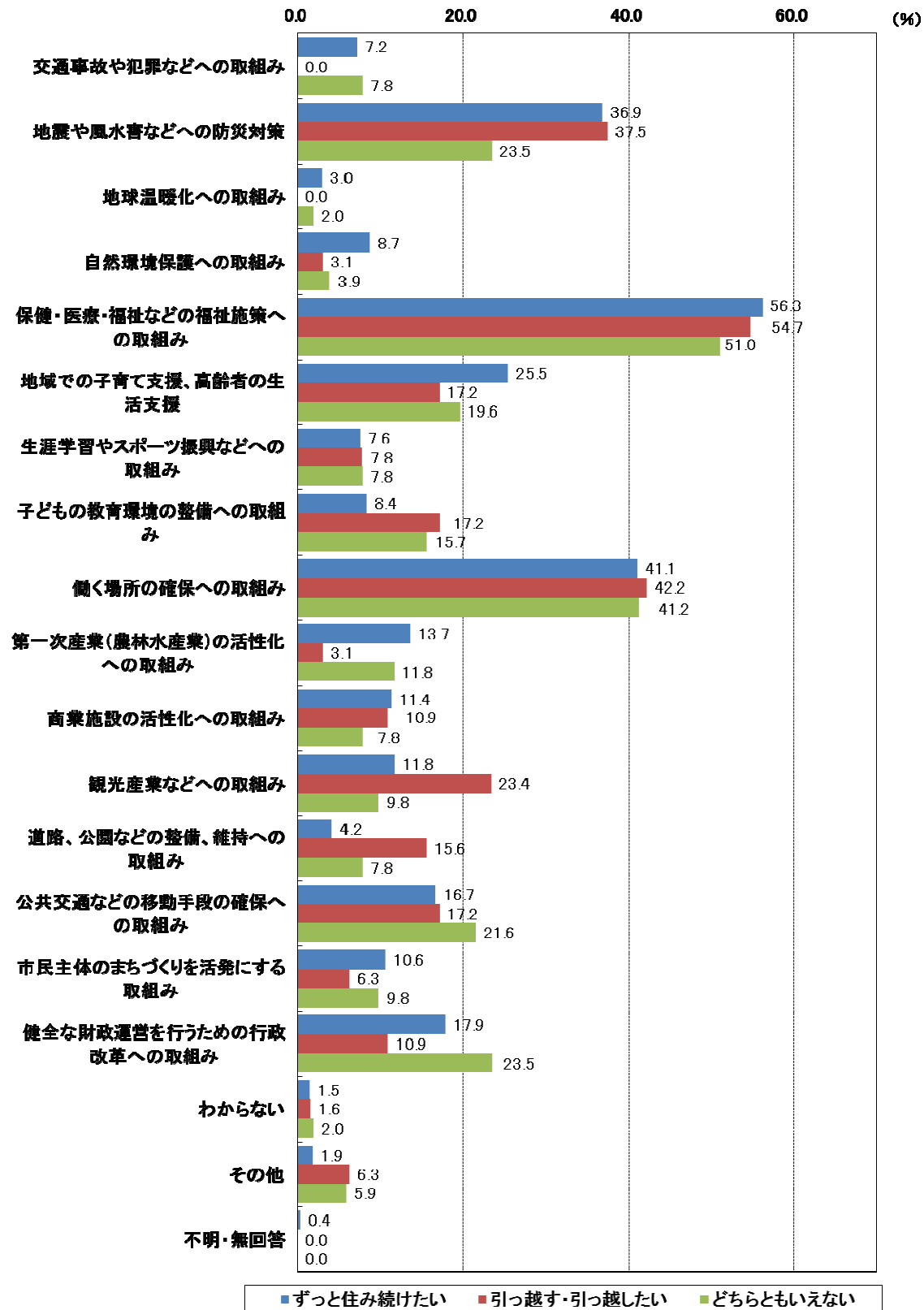
これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みを年代別に見ると、全年代で「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」の割合が最も高くなっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

問 13×定住意向

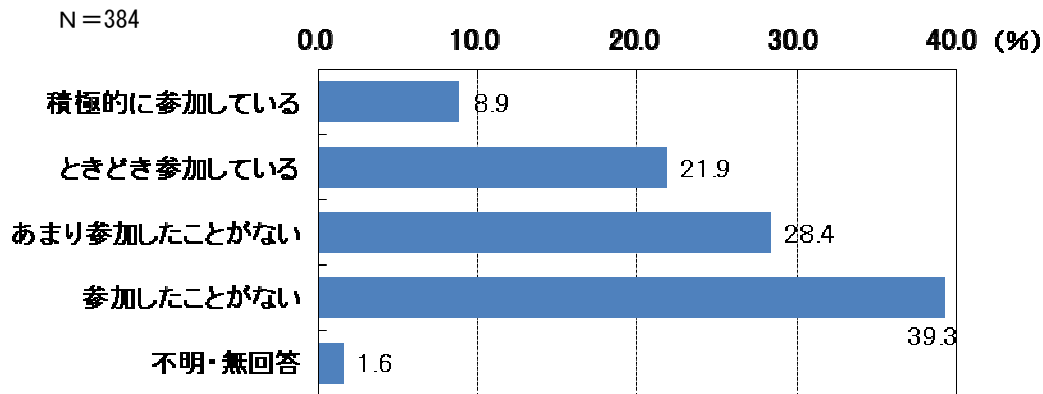
これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みを定住意向別に見ると、全定住意向で「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」の割合が最も高くなっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

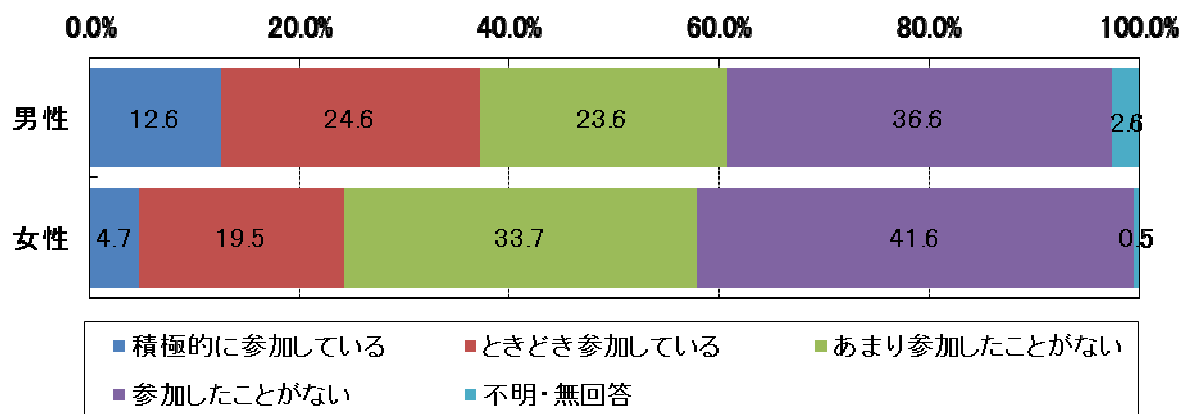
問 14 あなたは、地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがありますか。

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況として、「積極的に参加している」が 8.9%、「ときどき参加している」が 21.9%と、「参加している」層は 30.8%となっています。



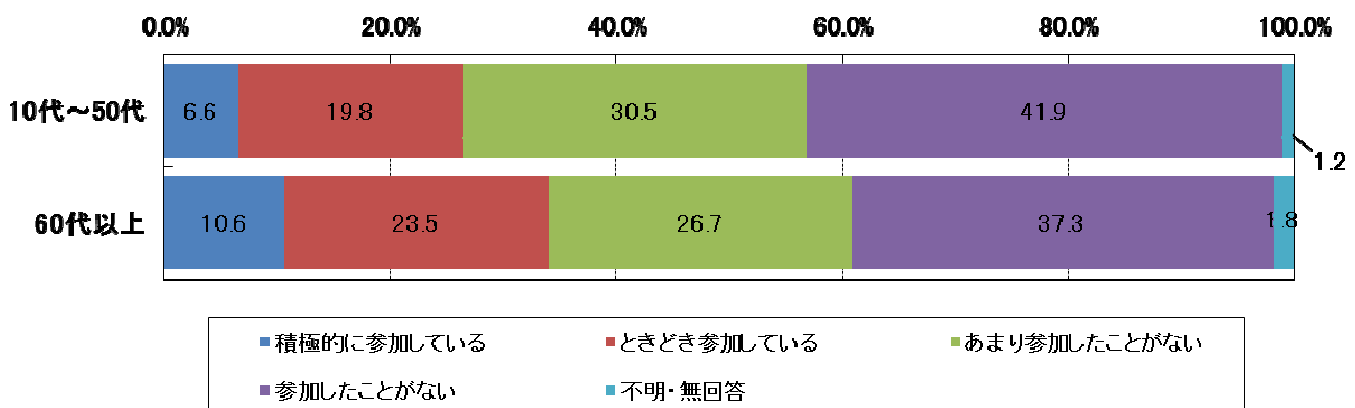
問 14×性別

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を性別ごとに見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計は、「男性」の方が高くなっています。



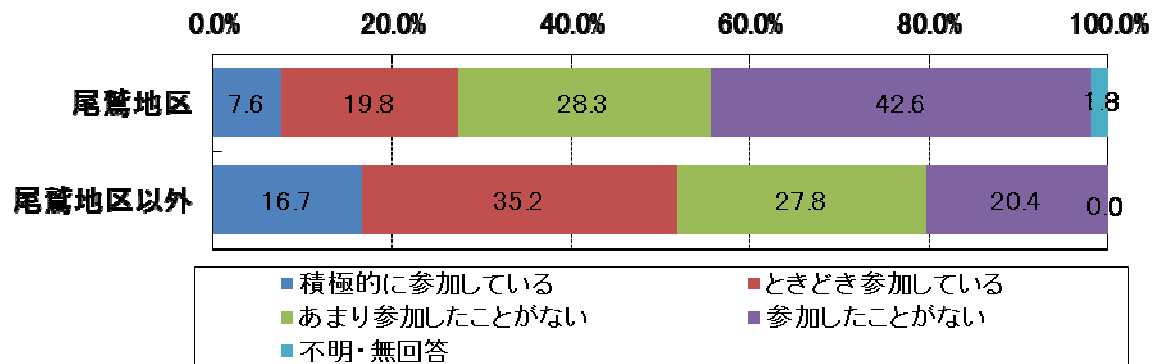
問 14×年代

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を年代別に見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計が、「10代～50代」では2割台半ばであるのに対し、「60代以上」では約3割となっています。



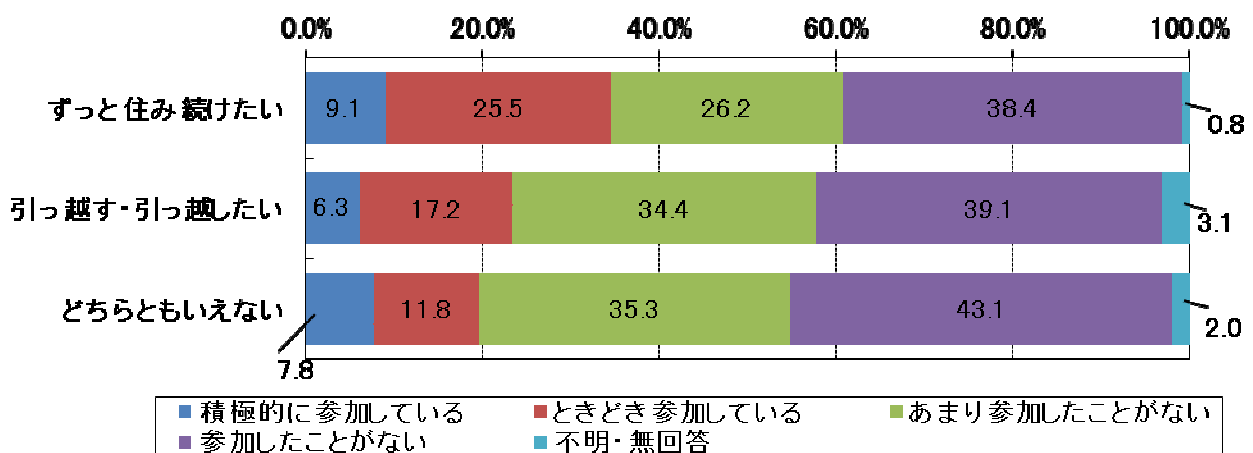
問 14×地区

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を地区別に見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計が、「尾鷲地区」では2割程度であるのに対し、「尾鷲地区以外」では5割となっています。



問 14×定住意向

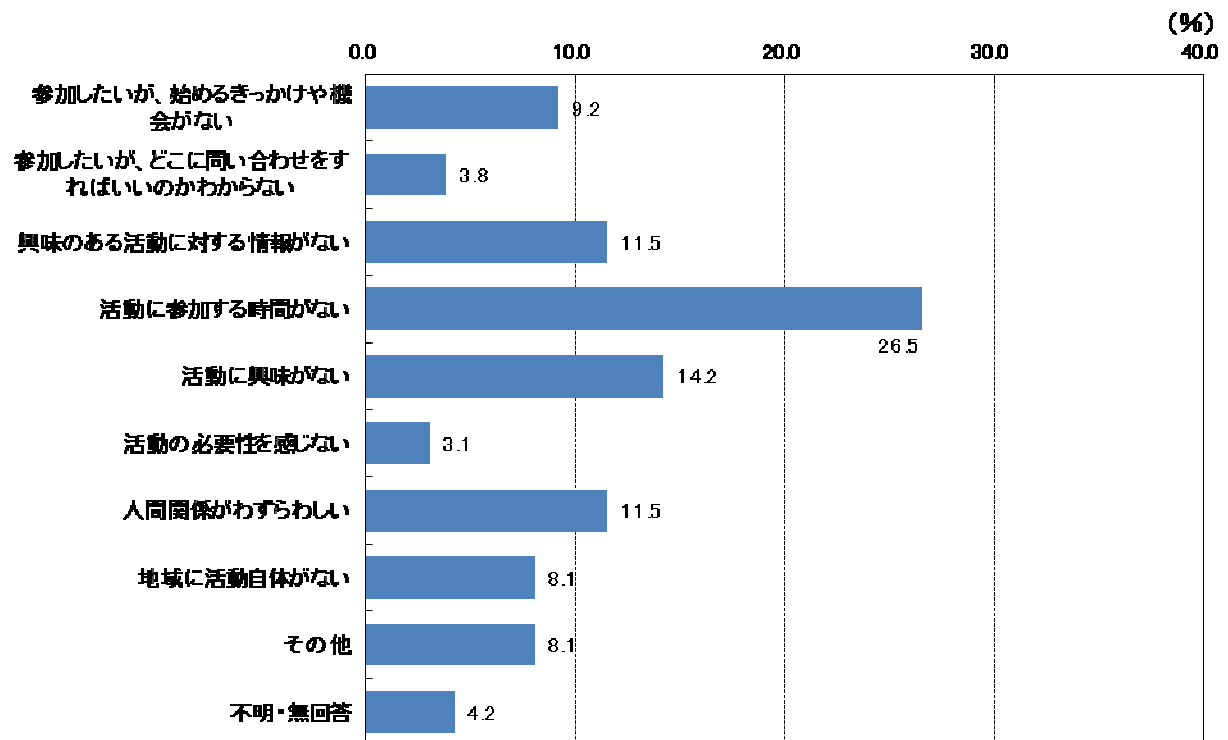
地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を定住意向別に見ると、「引っ越す・引っ越したい」と答えた方に対し、「ずっと住み続けたい」「どちらともいえない」と答えた方の「積極的に参加している」の割合が高くなっています。



問 15 【問 14 で「あまり参加したことがない」または「参加したことがない」とお答えになった方におうかがいします。】「あまり参加したことがない」「参加したことがない」と回答された理由は何ですか。

地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由として、「活動に参加する時間がない」が 26.5%、「活動に興味がない」が 14.2%、「興味のある活動に対する情報がない」、「人間関係がわずらわしい」が 11.5%となっています。

N=260

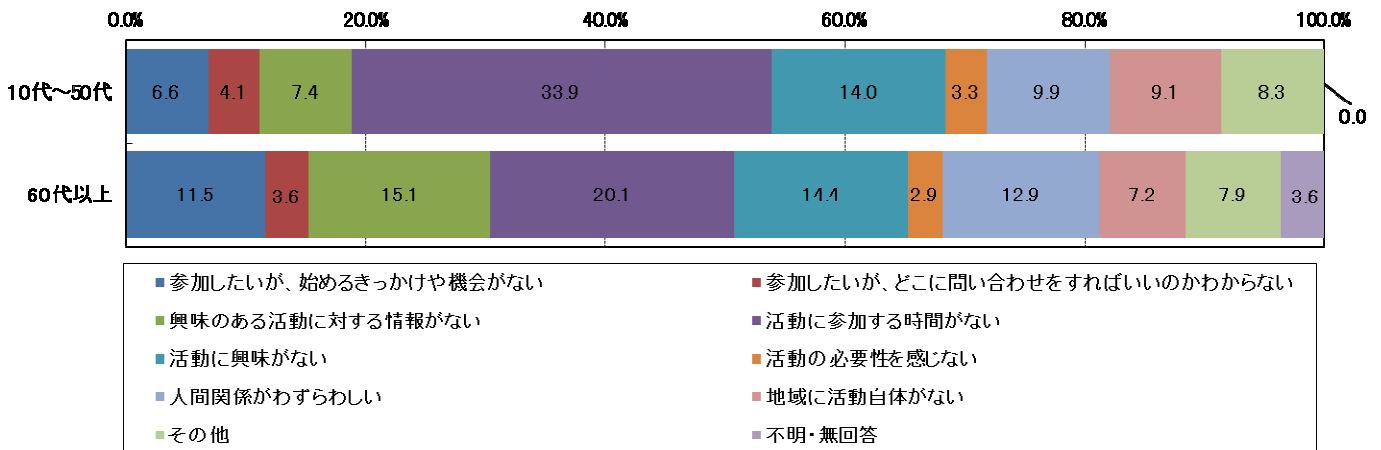


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
健康上の不安があるため
都合が合わない
昔はしていたが忙しくなった・歳をとった

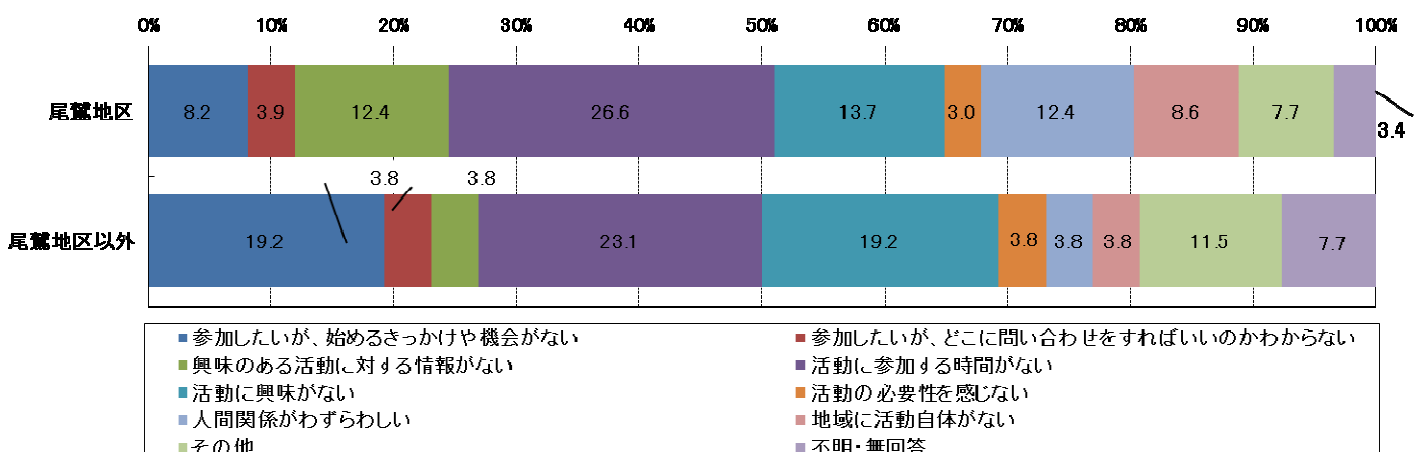
問 15×年代

地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由を年代別に見ると、全年代で「活動に参加する時間がない」の割合が最も高く、次いで「10代～50代」では「活動に興味がない」の割合が、「60代以上」では「興味のある活動に対する情報がない」の割合が高くなっています。



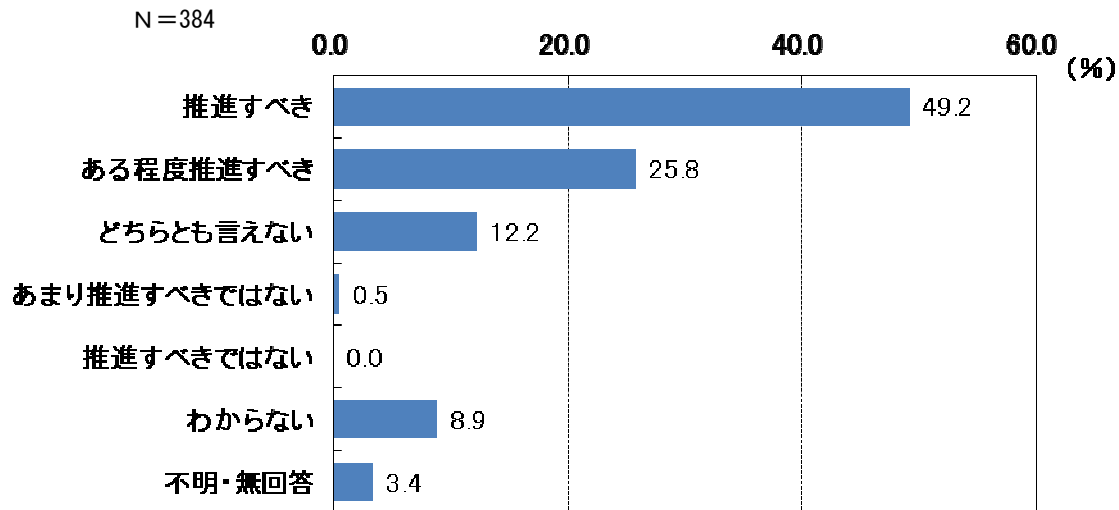
問 15×地区

地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由を地区別に見ると、「尾鷲地区」で「活動に参加する時間がない」の割合が最も高く、次いで「活動に興味がない」の割合が、「尾鷲地区以外」でも「活動に参加する時間がない」の割合が最も高く、次いで「参加したいが、始めるきっかけや機会がない」や「活動に興味がない」の割合が高くなっています。



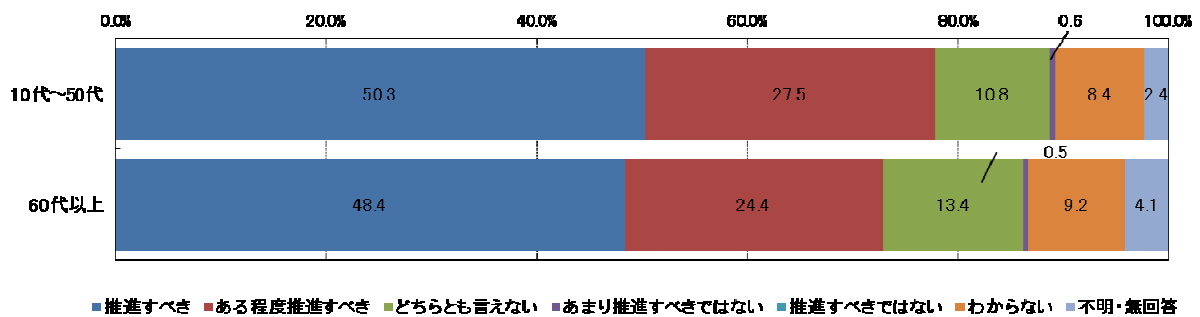
問 16 尾鷲市ではこれから、市役所を含む市民みんなで地域の課題を解決するために、目標を共有して、その目標達成のために取り組むことを進めたいと考えています。このことについてあなたはどのように考えますか。

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて、「推進すべき」が49.2%、「ある程度推進すべき」が25.8%と、「推進」した方が良いとの回答が7割以上となっています。



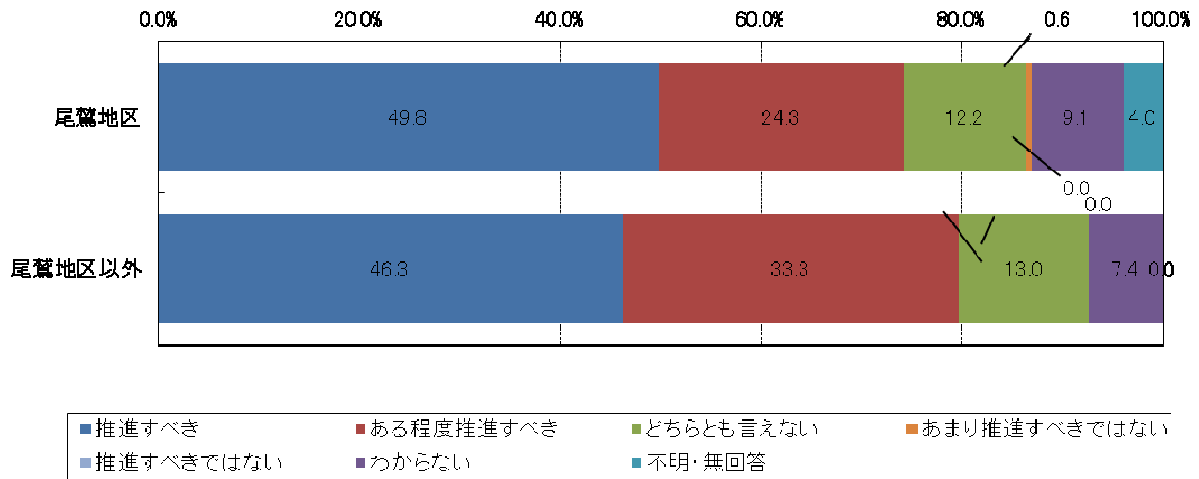
問 16×年代

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて年代別に見ると、「推進すべき」「ある程度推進すべき」と答えた方は、全年代で7割以上となっています。



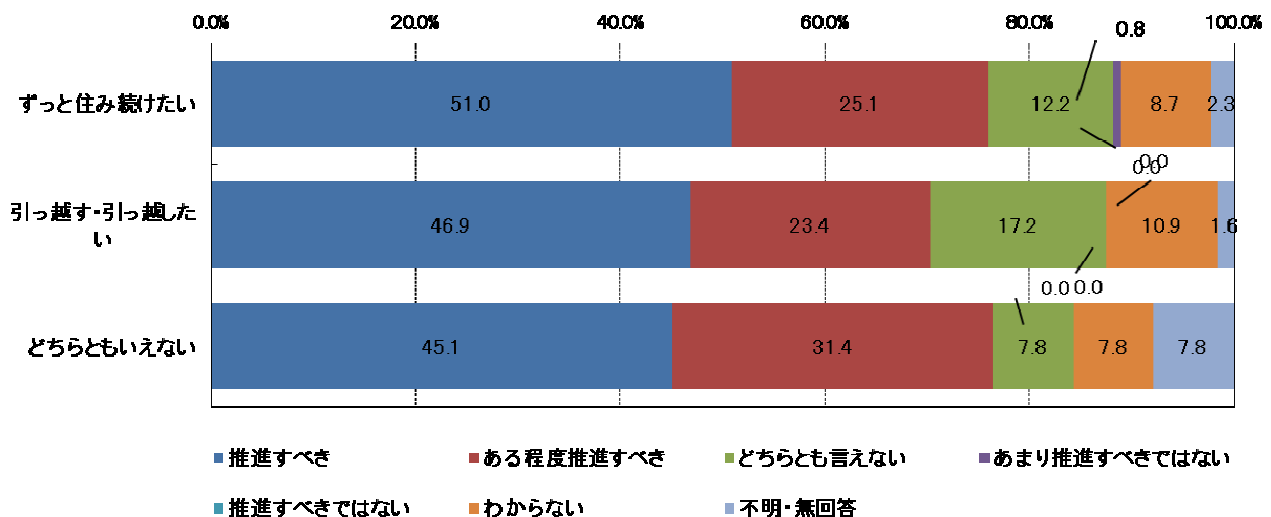
問 16×地区

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて地区別に見ると、「推進すべき」「ある程度推進すべき」の合計では、「尾鷲地区以外」のほうが高くなっています。



問 16×定住意向

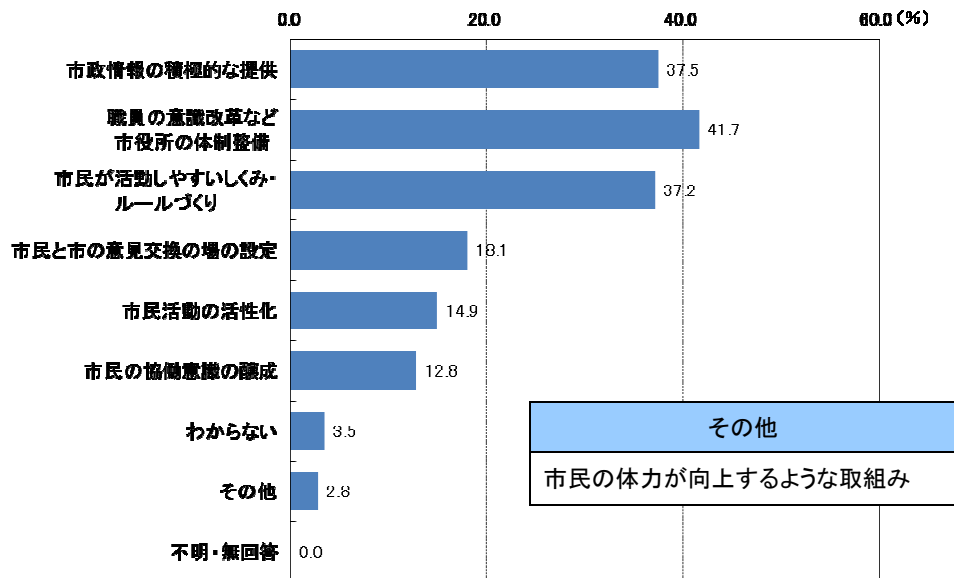
市民みんなで目標達成のために取り組むことについて定住意向別に見ると、「推進すべき」「ある程度推進すべき」の合計では、「ずっと住み続けたい」「どちらともいえない」共に同程度となっています。



問 17 【問 16 で「推進すべき」または「ある程度推進すべき」とお答えになった方におうかがいします。】市民との協働のまちづくりを進めるうえで、あなたは、市がどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（複数回答）

市民との協働のまちづくりを進めるうえで市が取り組むべきこととして、「職員の意識改革など市役所の体制整備」が41.7%、「市政情報の積極的な提供」が37.5%となっています。

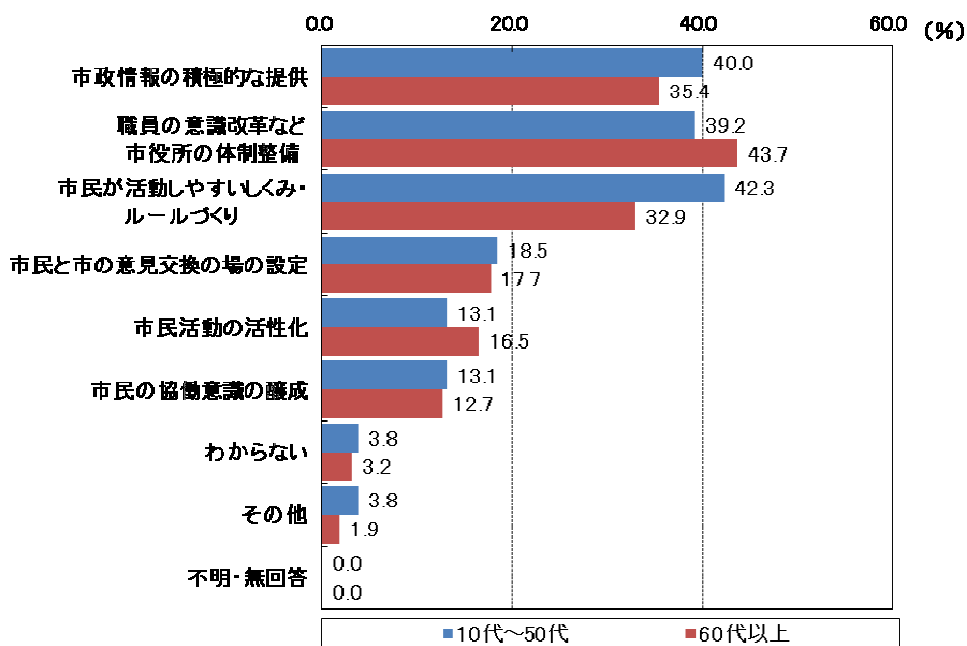
N=288



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

問 17×年代

市民との協働のまちづくりを進めるうえで市が取り組むべきことを年代別に見ると、「10代～50代」では「市民が活動しやすいしくみ・ルールづくり」が42.3%、「60代以上」では「職員の意識改革など市役所の体制整備」が43.7%と最も高くなっています。

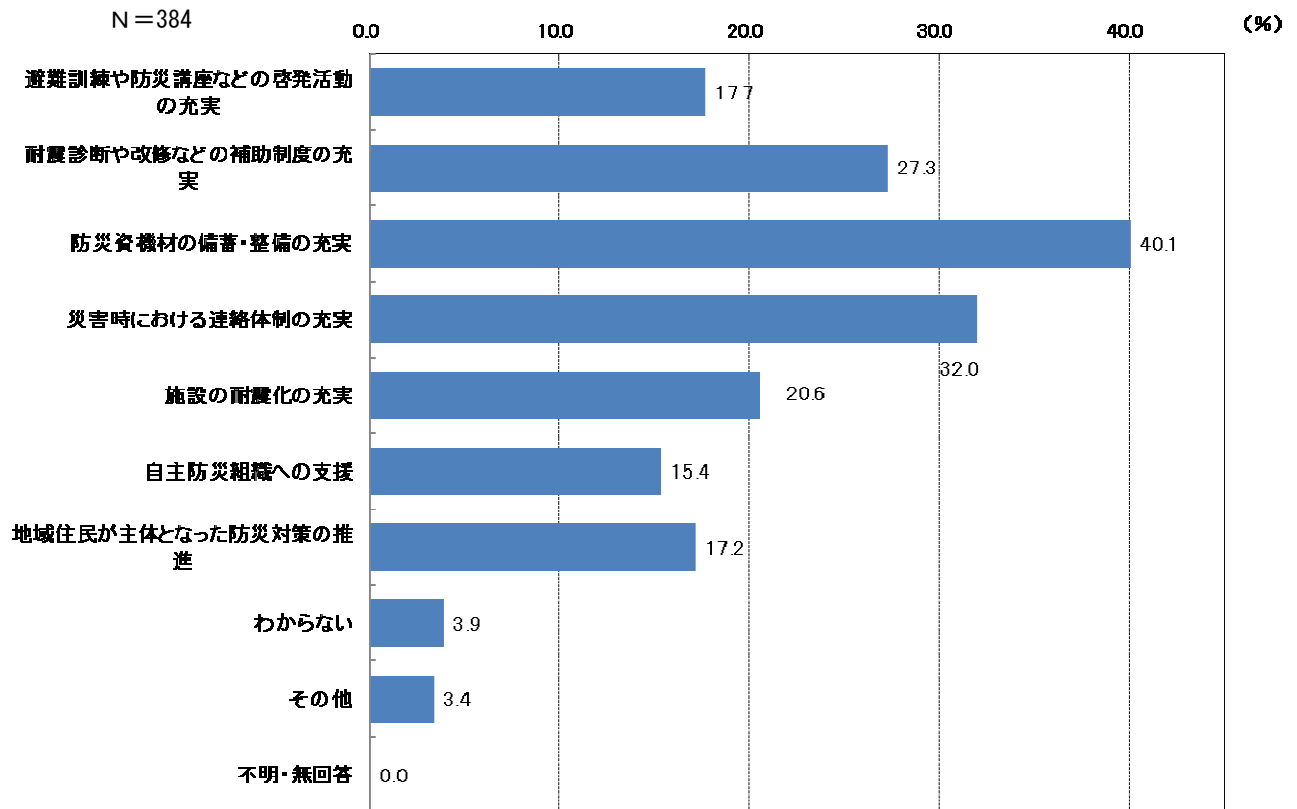


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【安全】

問 18 あなたは、地震や台風など災害による被害を防ぐ取り組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答）

地震や台風など災害による被害を防ぐ取り組みとして、「防災資機材の備蓄・整備の充実」が40.1%、「災害時における連絡体制の充実」が32.0%、「耐震診断や改修などの補助制度の充実」が27.3%となっています。

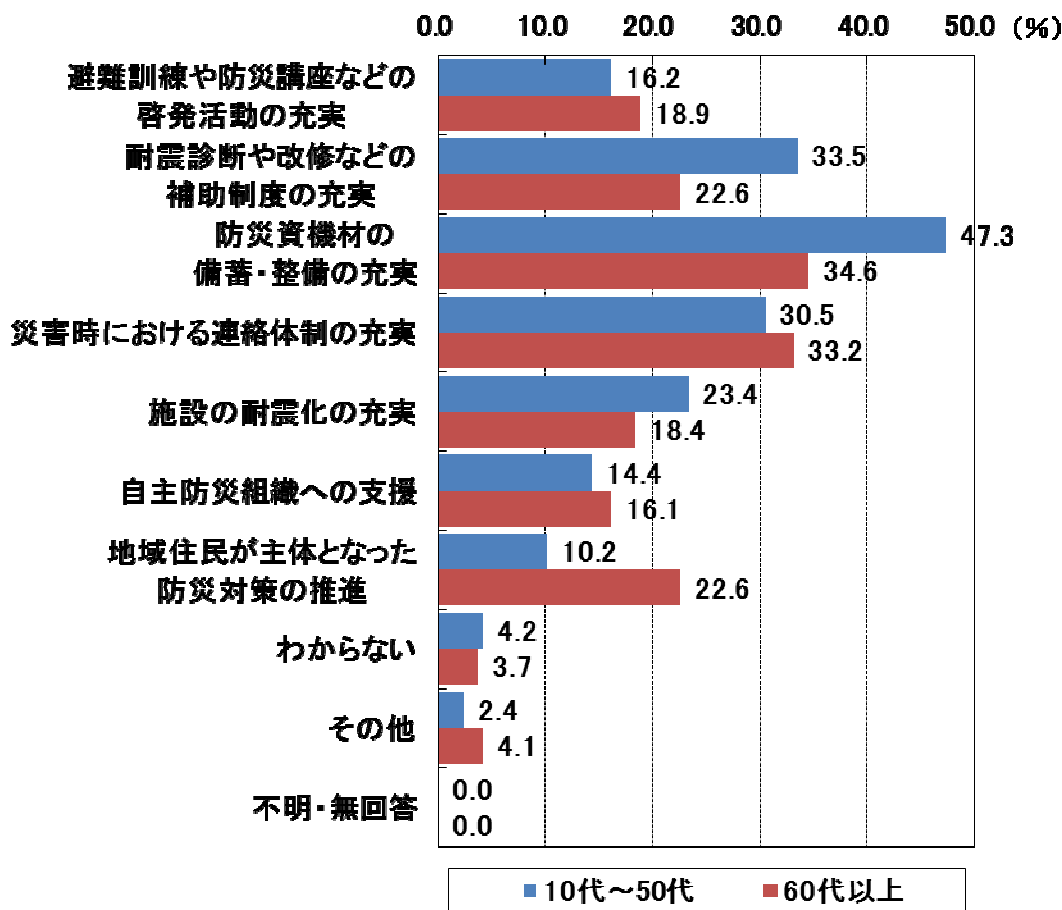


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
防潮堤や避難タワーの建設
空き家など、倒壊する恐れのある建物の撤去
避難経路や避難場所の確保・点検
個々で対策をし、分け隔てのない協力・助け合いをする
市全体が危機感を持って自主防災組織に加入する
全建物の耐震化

問 18×年代

災害による被害防止策を年代別に見ると、全年代で「防災資器材の備蓄・整備の充実」の割合が高くなっています。

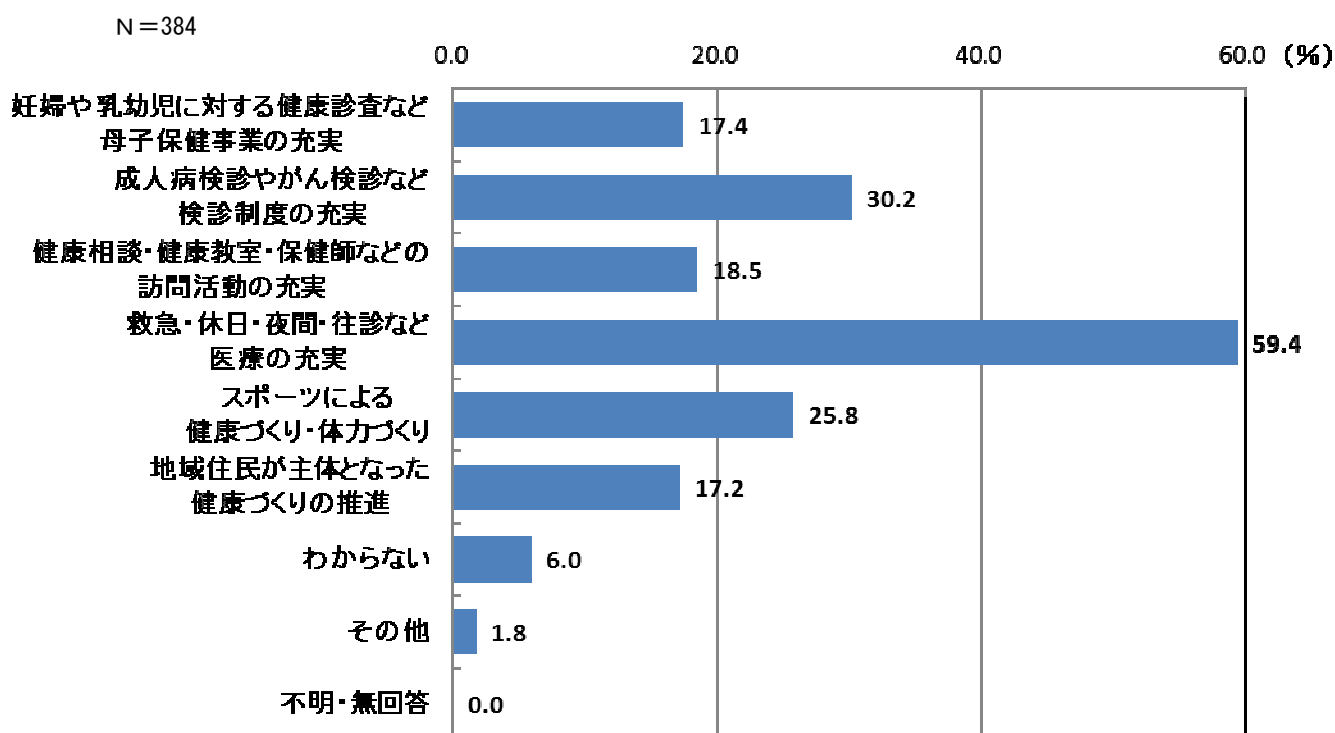


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【健康づくり】

問 19 あなたは、健康づくりを充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。（複数回答）

健康づくりの充実策として、「救急・休日・夜間・往診など医療の充実」が 59.4%、「成人病検診やがん検診など検診制度の充実」が 30.2%、「スポーツによる健康づくり・体力づくり」が 25.8%となっています。

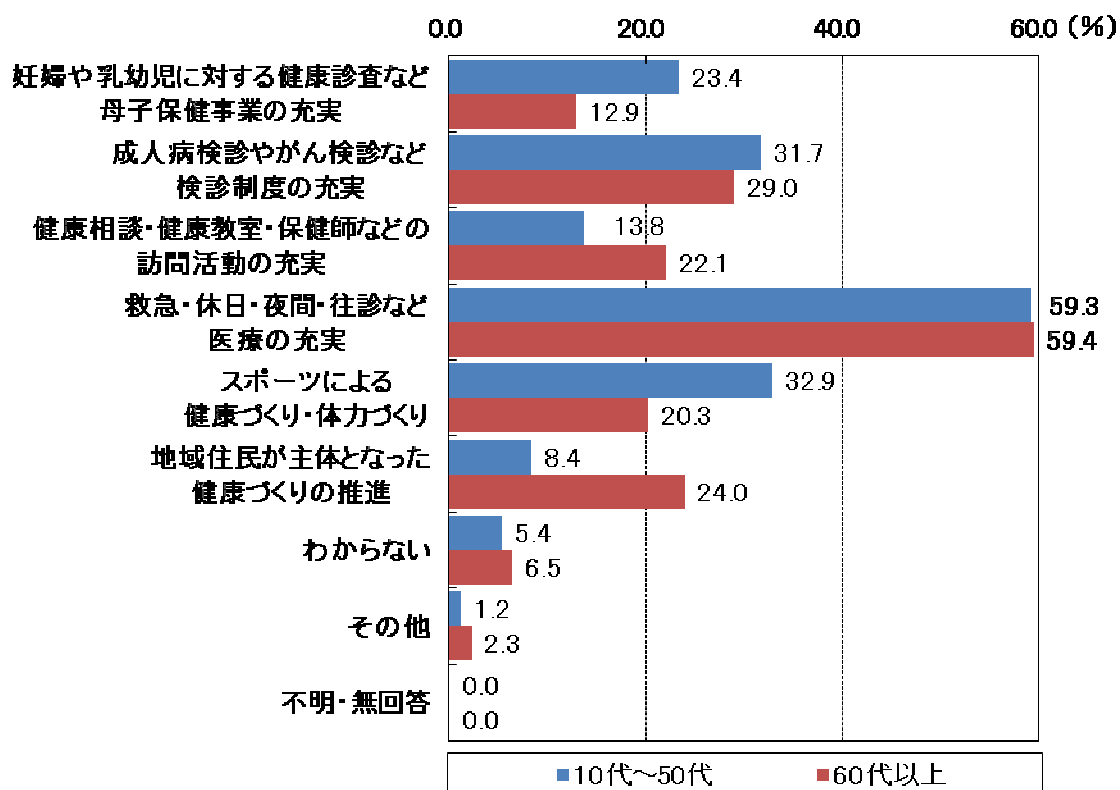


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
施設や設備の充実
家などに引きこもらないような支援
独居高齢者に対する支援
安全にウォーキングができるような場所の設置
尾鷲の自然を生かした独自の取組み
市民検診などを含めた医療の充実

問 19×年代

健康づくりの充実策を年代別に見ると、全年代で「救急・休日・夜間・往診など医療の充実」の割合が最も高く、次いで「10代～50代」では「スポーツによる健康づくり・体力づくり」の割合が高く、「60代以上」では「成人病検診やがん検診など検診制度の充実」の割合が高くなっています。



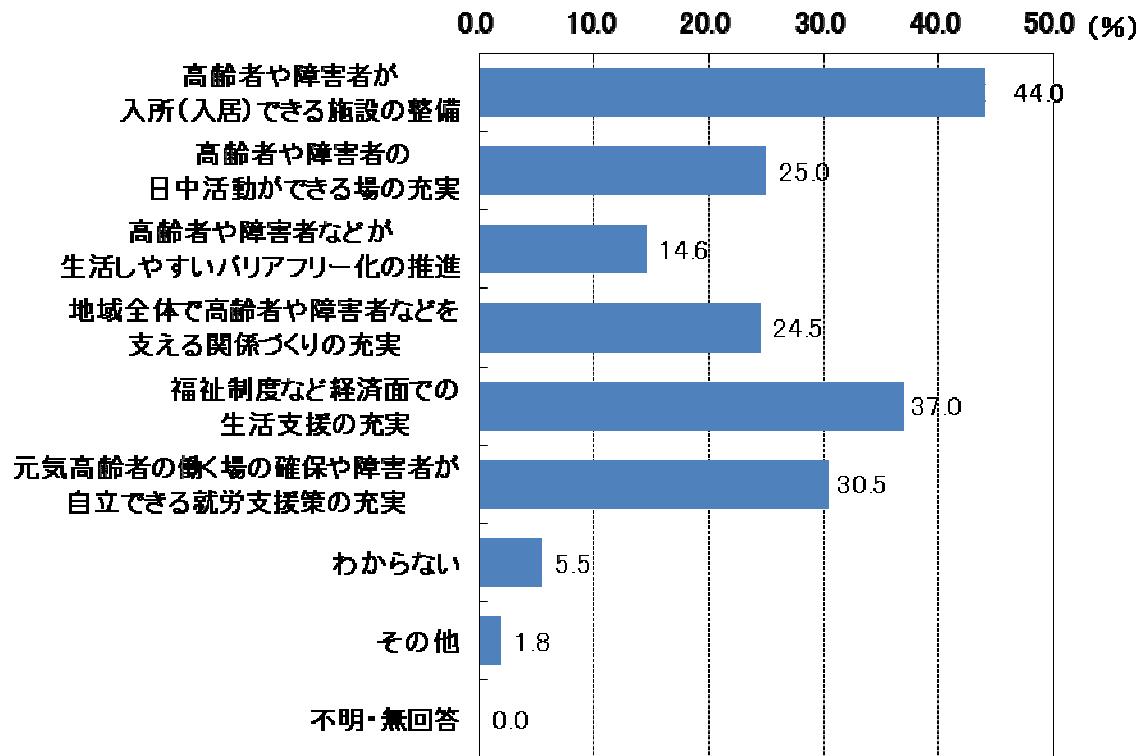
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【福祉】

問 20 あなたは、福祉を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)

福祉の充実策として、「高齢者や障害者が入所(入居)できる施設の整備」が44.0%、「福祉制度など経済面での生活支援の充実」が37.0%、「元気高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実」が30.5%となっています。

N=384

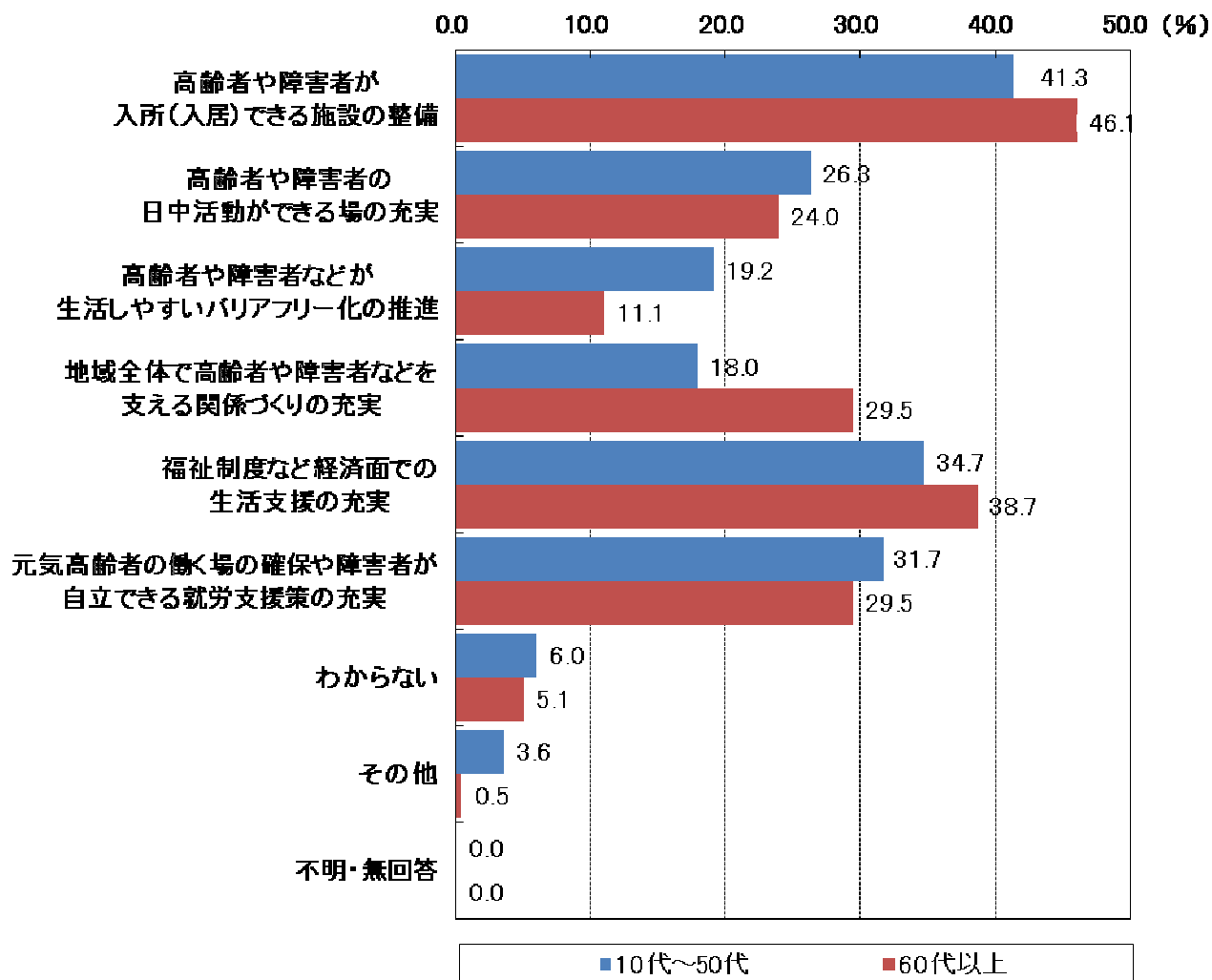


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
福祉に携わる人材の確保
認知症の人とその家族に対する訪問でのアドバイスや支援

問 20×年代

福祉の充実策を年代別に見ると、全年代で「高齢者や障害者が入所(入居)できる施設の整備」の割合が最も高く、次いで「福祉制度など経済面での生活支援の充実」の割合が高くなっています。



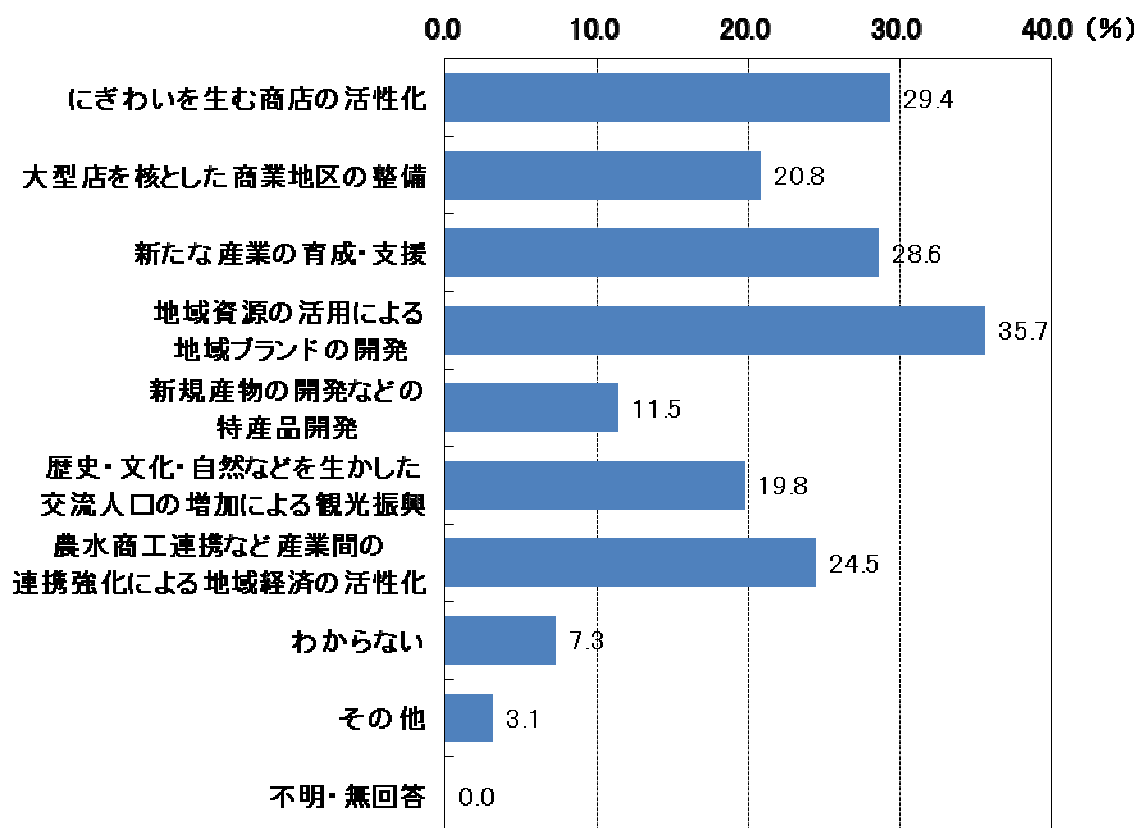
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【産業振興】

問 21 あなたは、産業振興・活性化のためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

産業振興・活性化策として、「地域資源の活用による地域ブランドの開発」が35.7%、「にぎわいを生む商店の活性化」が29.4%、「新たな産業の育成・支援」が28.6%となっています。

N=384

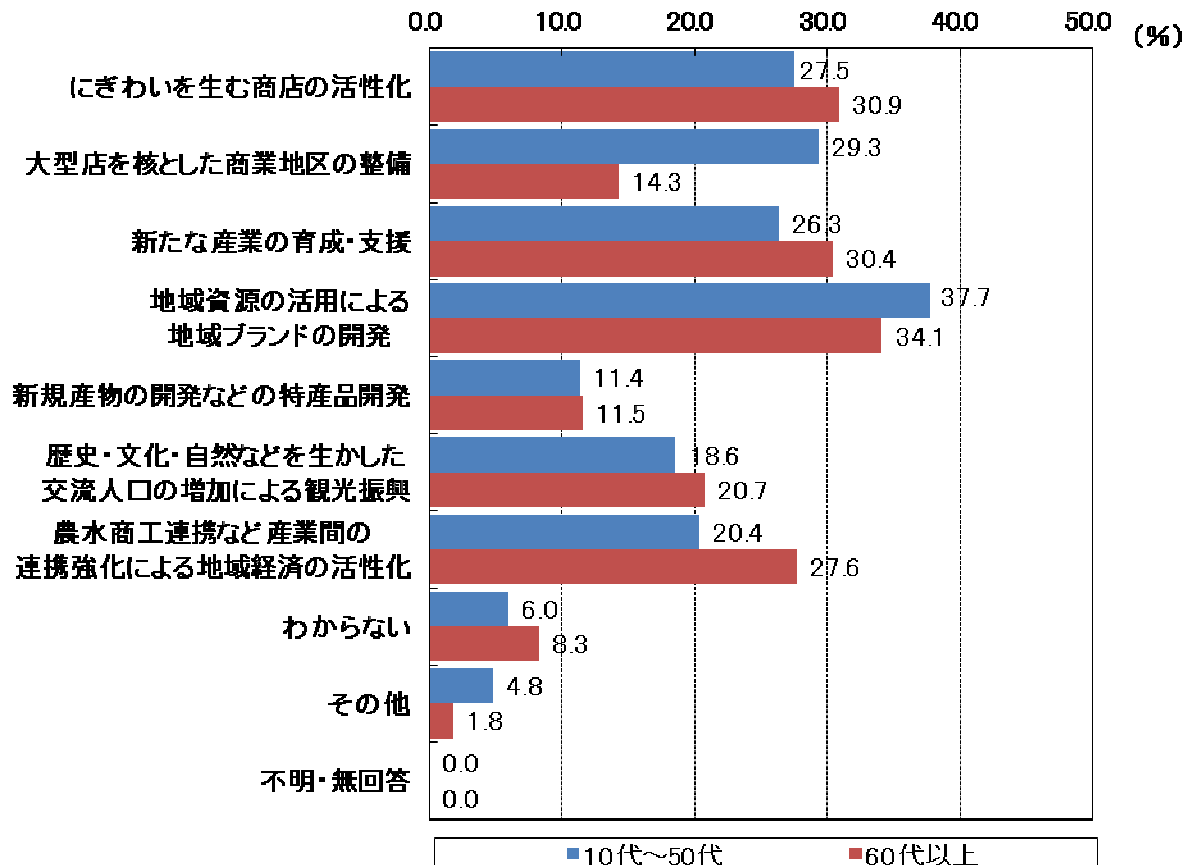


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
大学や専門学校の誘致・設立
遊園地や水族館などの施設を造る
レジャー関係の強化
外国人観光客の呼び込み
多くの若者が働けるような雇用を考える
市政の仕組みを整える
市民から愛される地元の場所づくり

問 21×年代

産業振興・活性化策を年代別に見ると、全年代で「地域資源の活用による地域ブランドの開発」の割合が最も高く、次いで「10代～50代」では「大型店を核とした商業地区の整備」の割合が高くなっており、「60代以上」では「にぎわいを生む商店の活性化」の割合が高くなっています。



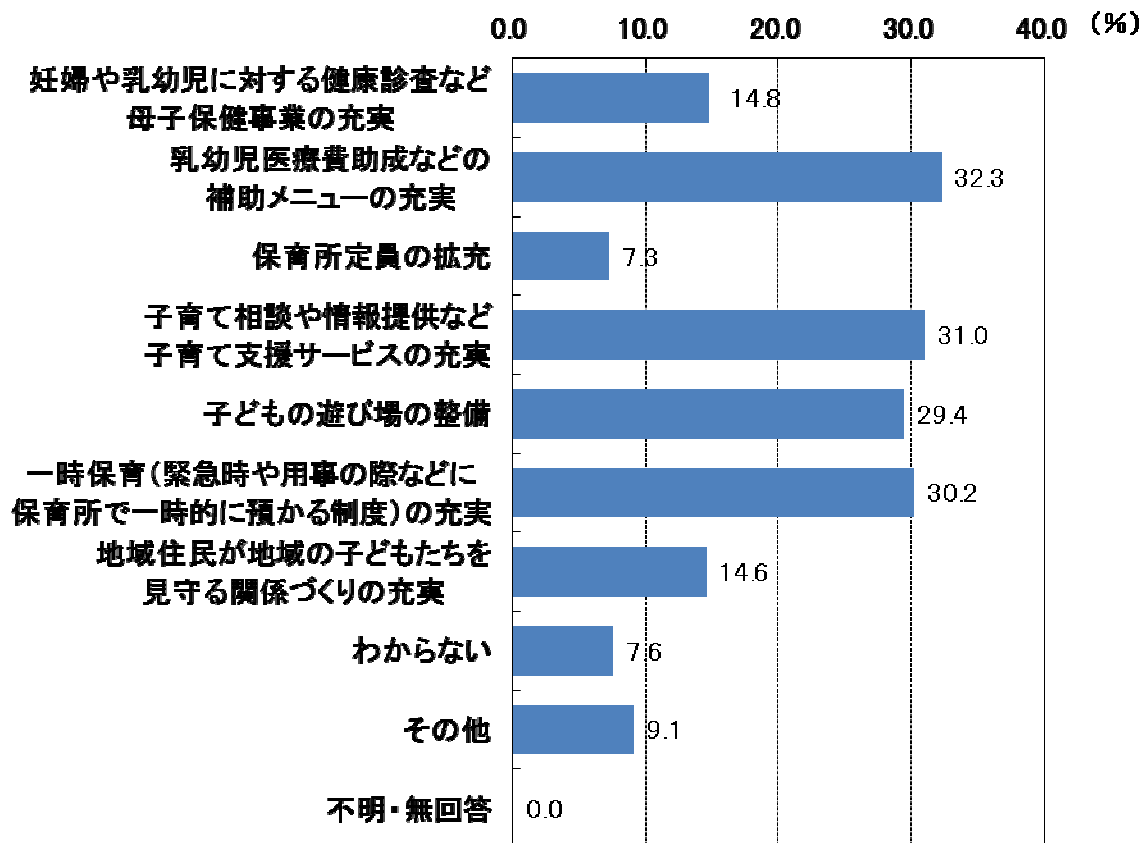
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【子育て環境】

問 22 尾鷲市も少子化が重要な課題となっています。あなたは、少子化に対応するにはどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

少子化への対応として、「乳幼児医療費助成などの補助メニューの充実」が 32.3%で最も高く、次いで「子育て相談や情報提供など子育て支援サービスの充実」が 31.0%となっています。

N=384

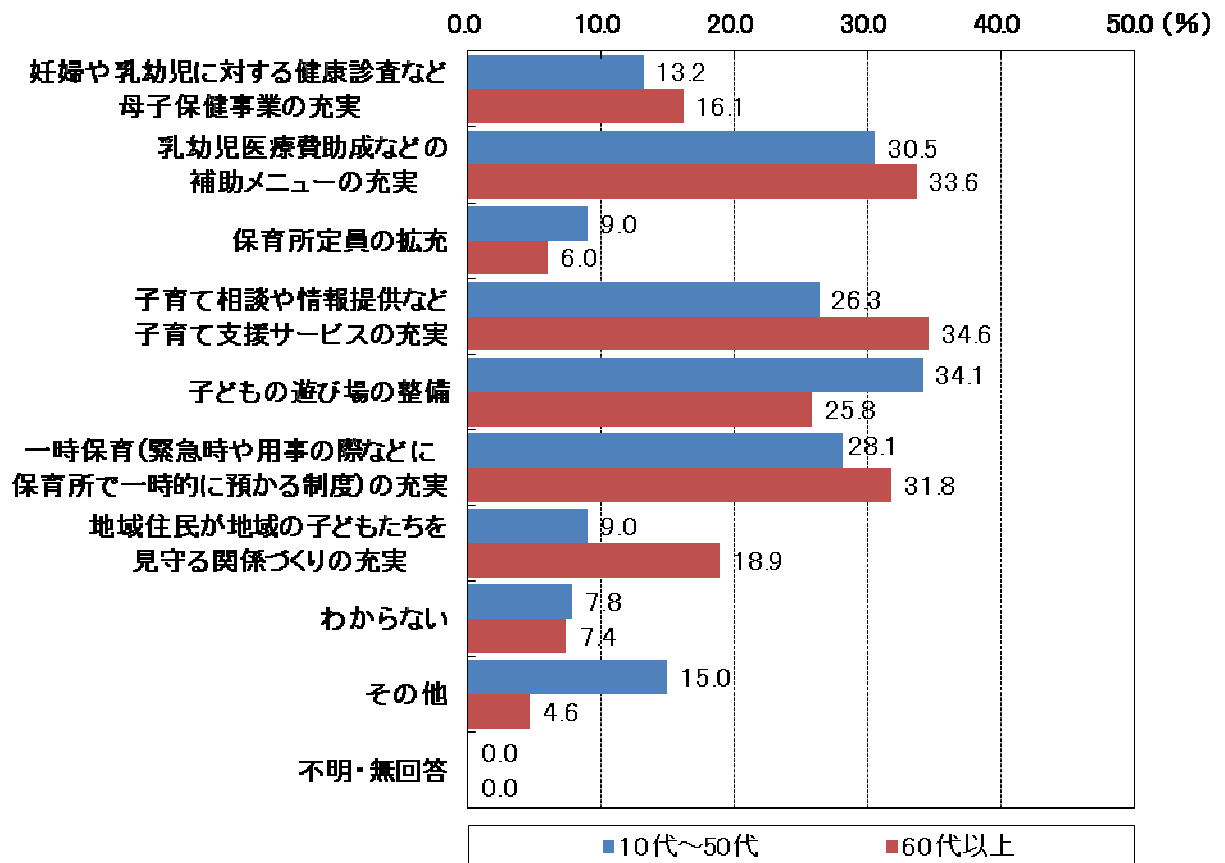


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
不妊治療への助成
助成金や支援金の充実
賃金の良い就業場所の確保
安心して子どもを預けられる場所の確保
給食費の無償化
働く場所や住居など、若い世代が生活できる環境の整備
延長保育や学童の充実
移住者を増やす

問 22×年代

少子化への対応を年代別に見ると、「10代～50代」で「子どもの遊び場の整備」の割合が最も高く、次いで「乳幼児医療費助成などの補助メニューの充実」の割合が高くなっており、「60代以上」では「子育て相談や情報提供など子育て支援サービスの充実」の割合が最も高く、次いで「乳幼児医療費助成などの補助メニューの充実」の割合が高くなっています。

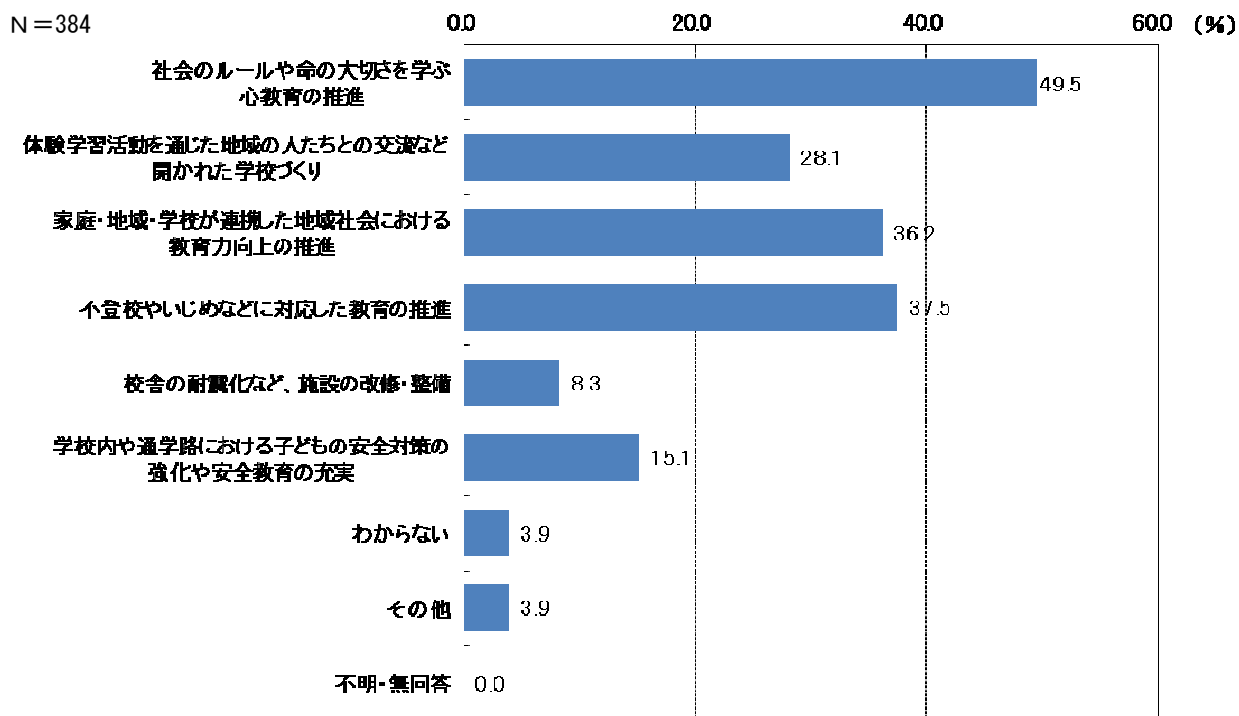


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【学校教育】

問 23 あなたは、学校教育を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

学校教育の充実策として、「社会のルールや命の大切さを学ぶ心教育の推進」が49.5%、「不登校やいじめなどに対応した教育の推進」が37.5%、「家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進」が36.2%となっています。

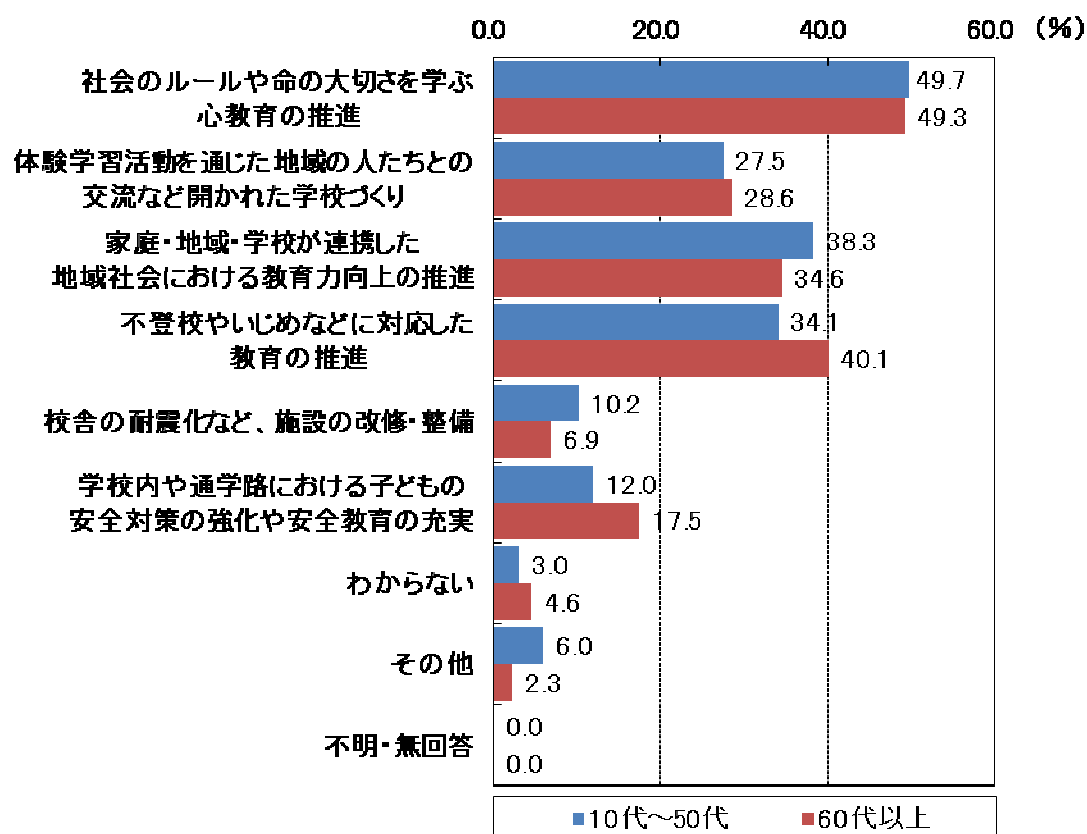


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
学校の質の向上
教育者の充実
教師のレベルを上げる
道徳の授業を増やす

問 23×年代

学校教育の充実策を年代別に見ると、全年代で「社会のルールや命の大切さを学ぶ心教育の推進」の割合が最も高く、次いで「10代～50代」では「家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進」、「60代以上」では「不登校やいじめなどに対応した教育の推進」の割合が高くなっています。



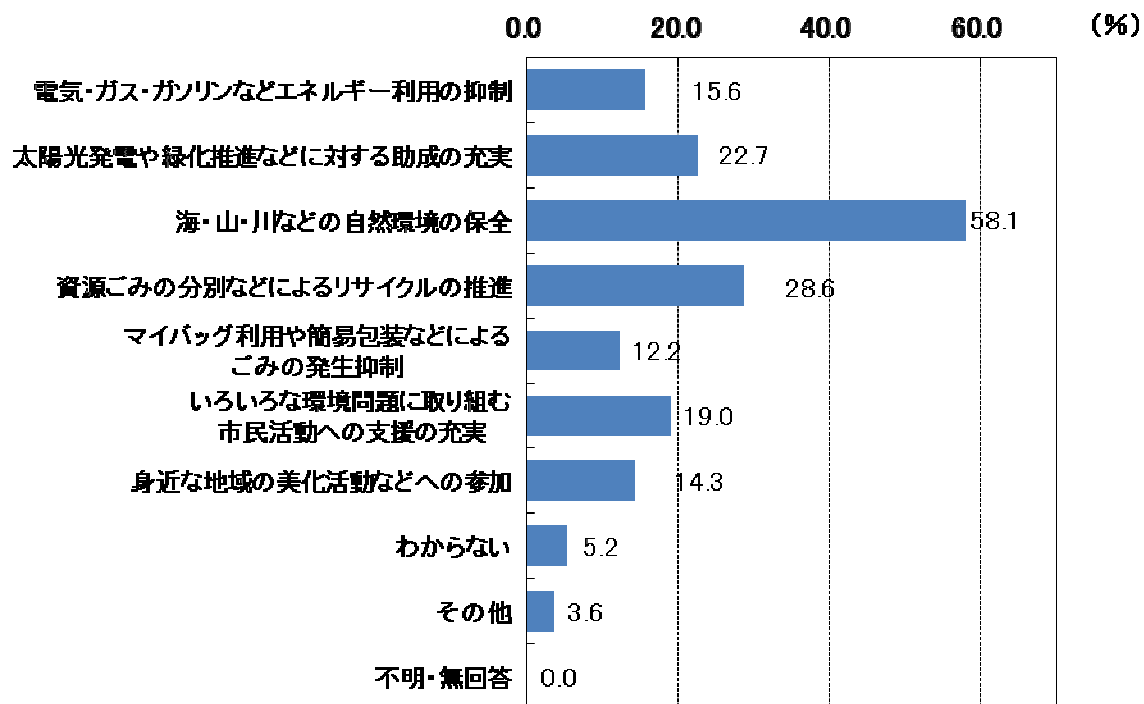
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【環境】

**問 24 あなたは、環境を良くするためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(複数回答)**

環境を良くする方策として、「海・山・川などの自然環境の保全」が58.1%、「資源ごみの分別などによるリサイクルの推進」が28.6%となっています。

N=384

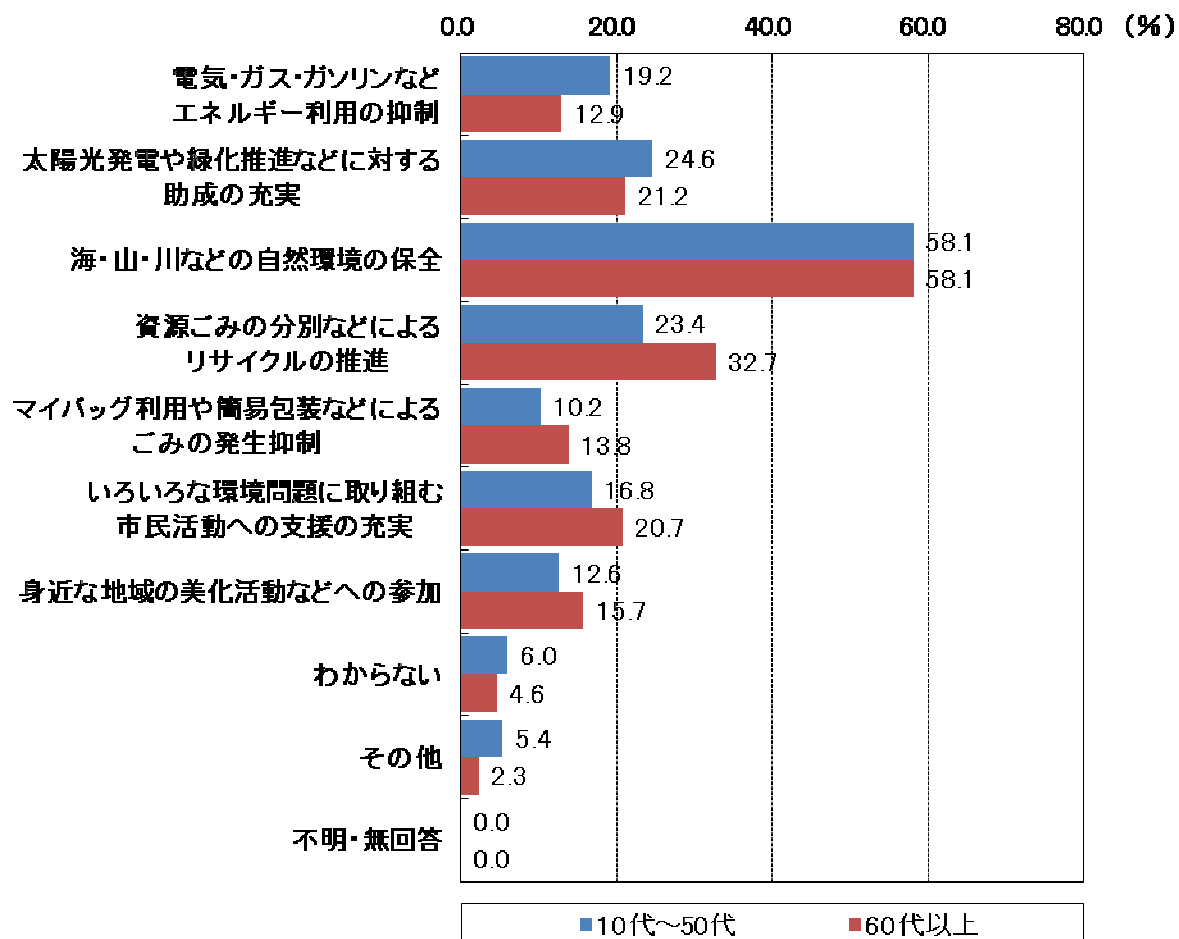


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
不法投棄の解消
環境教育の充実
海や川の近くにゴミ箱を設置する
市民にとっての憩いの場を作る

問 24×年代

環境を良くする方策としては、全年代で「海・山・川などの自然環境の保全」の割合が最も高くなっており、次いで「10代～50代」では「太陽光発電や緑化推進などに対する助成の充実」の割合が、「60代以上」では「資源ごみの分別などによるリサイクルの推進」の割合が高くなっています。

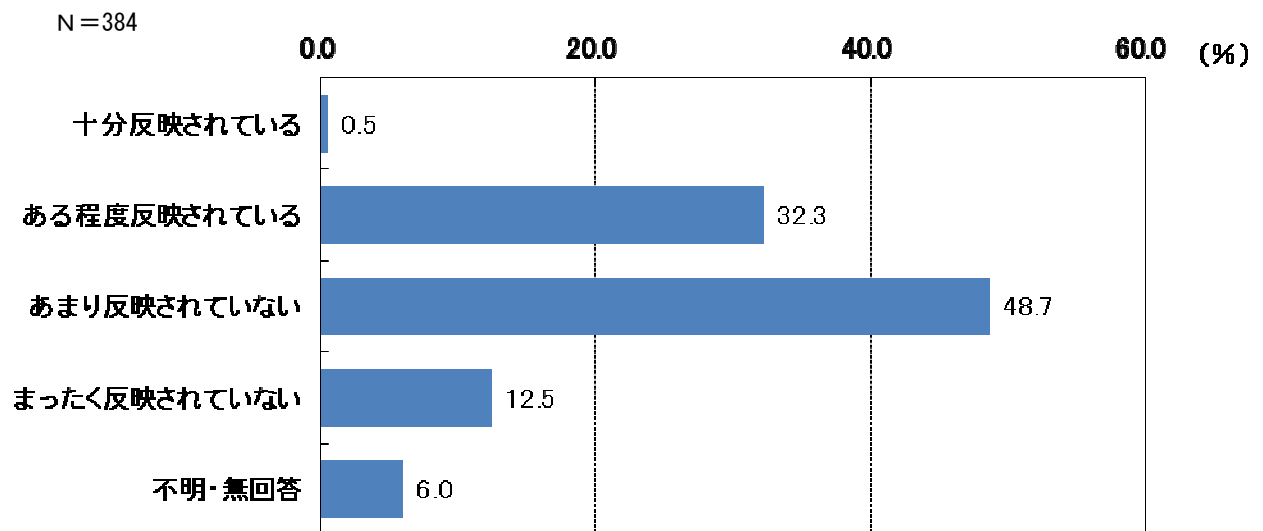


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【市民意見の反映】

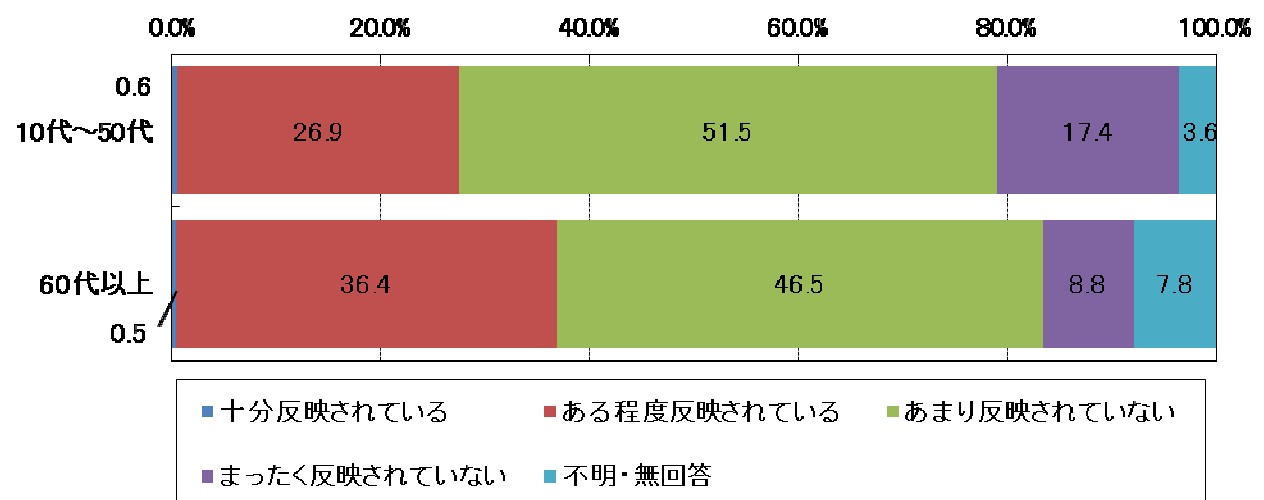
問 25 あなたは、現在の市政に市民の意向がどの程度反映されていると考えていますか。

市政への市民意向の反映状況として、「あまり反映されていない」が48.7%、「まったく反映されていない」が12.5%と、合計で61.2%が「反映されていない」と回答しています。



問 25×年代

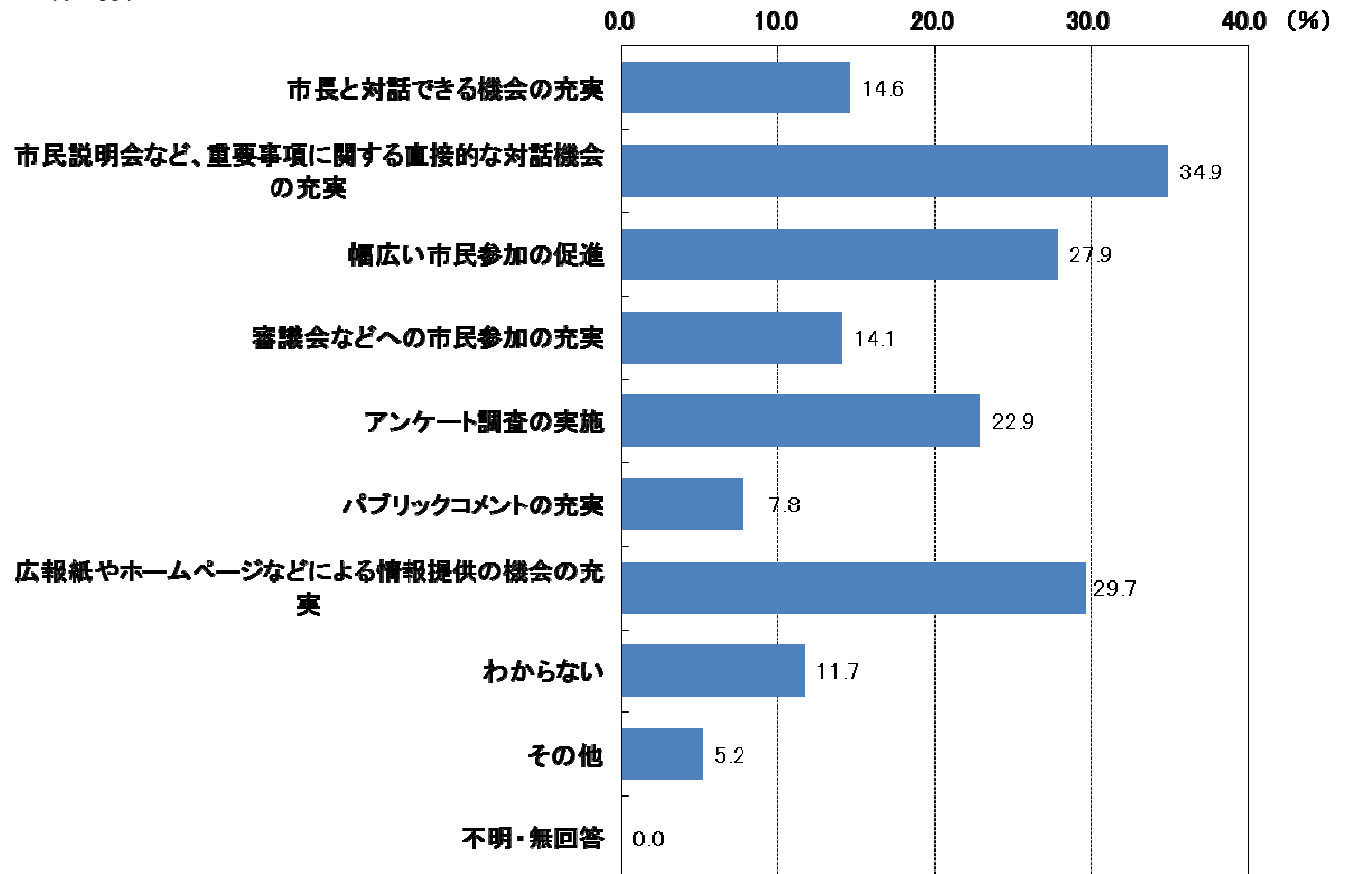
市政への市民意向の反映状況を年代別に見ると、「あまり反映されていない」「まったく反映されていない」の合計が、「10代～50代」では68.9%、「60代以上」では55.3%となっています。



問 26 あなたは、できるだけ多くの市民の意向を市政に反映させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)

市民意向を市政に反映させる方策として、「市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実」が34.9%と最も多く、次いで「広報誌やホームページなどによる情報提供の機会の充実」が29.7%、「幅広い市民参加の促進」が27.9%となっています。

N=384

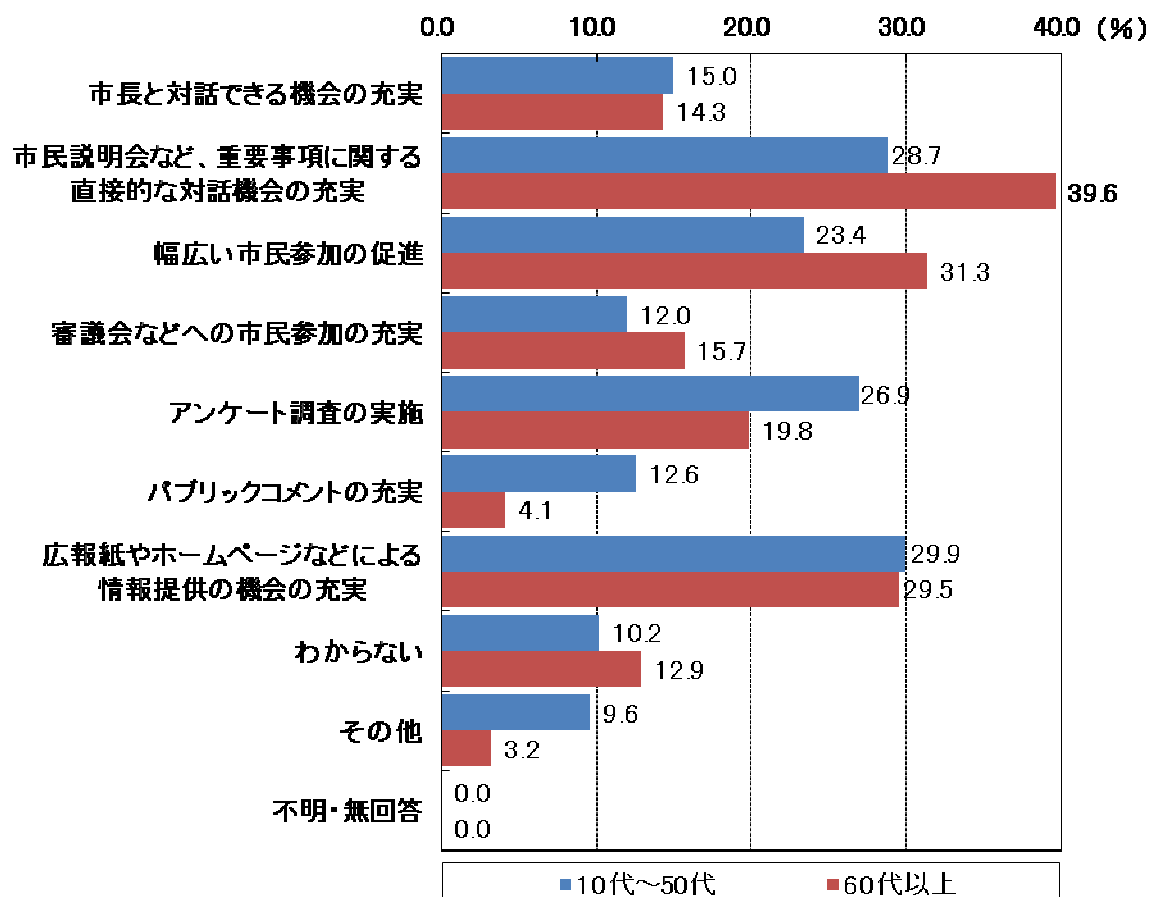


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
市長、議員、市職員の意識改革
若手職員によるSNS発信
目安箱などの設置
市長、議員、市職員が地域に溶け込み要望等を聞く
年代によって意向の反映方法を工夫する
高齢者にもわかりやすい情報発信の工夫
若者中心に声を聞き反映させる
市長や議員が他県市町に視察に行く
若手職員による新部署の設置

問 26×年代

市民意向を市政に反映させる方策を年代別に見ると、「10代～50代」では「広報紙やホームページなどによる情報提供の機会の充実」の割合が最も高く、次いで「市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実」の割合が高くなっており、「60代以上」では「市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実」の割合が最も高く、次いで「幅広い市民参加の促進」の割合が高くなっています。

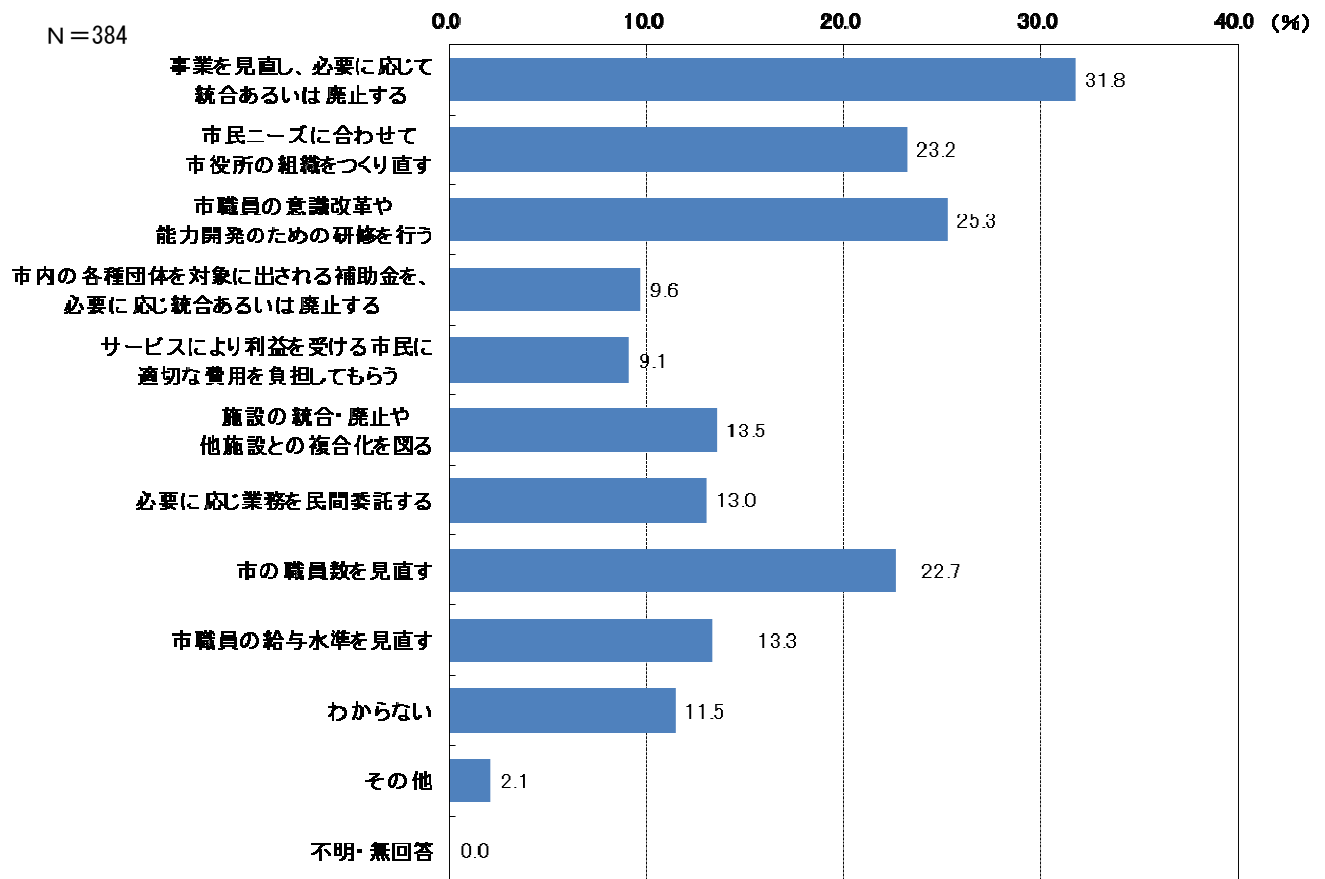


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【行政改革】

問27 あなたは、効果的かつ効率的な行政サービスを提供するためには、どのような方策が必要だと考えますか。(複数回答)

効率的かつ効果的な行政サービスの提供方策として、「事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」が31.8%、「市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う」が25.3%、「市民ニーズに合わせて市役所の組織をつくり直す」が23.2%となっています。

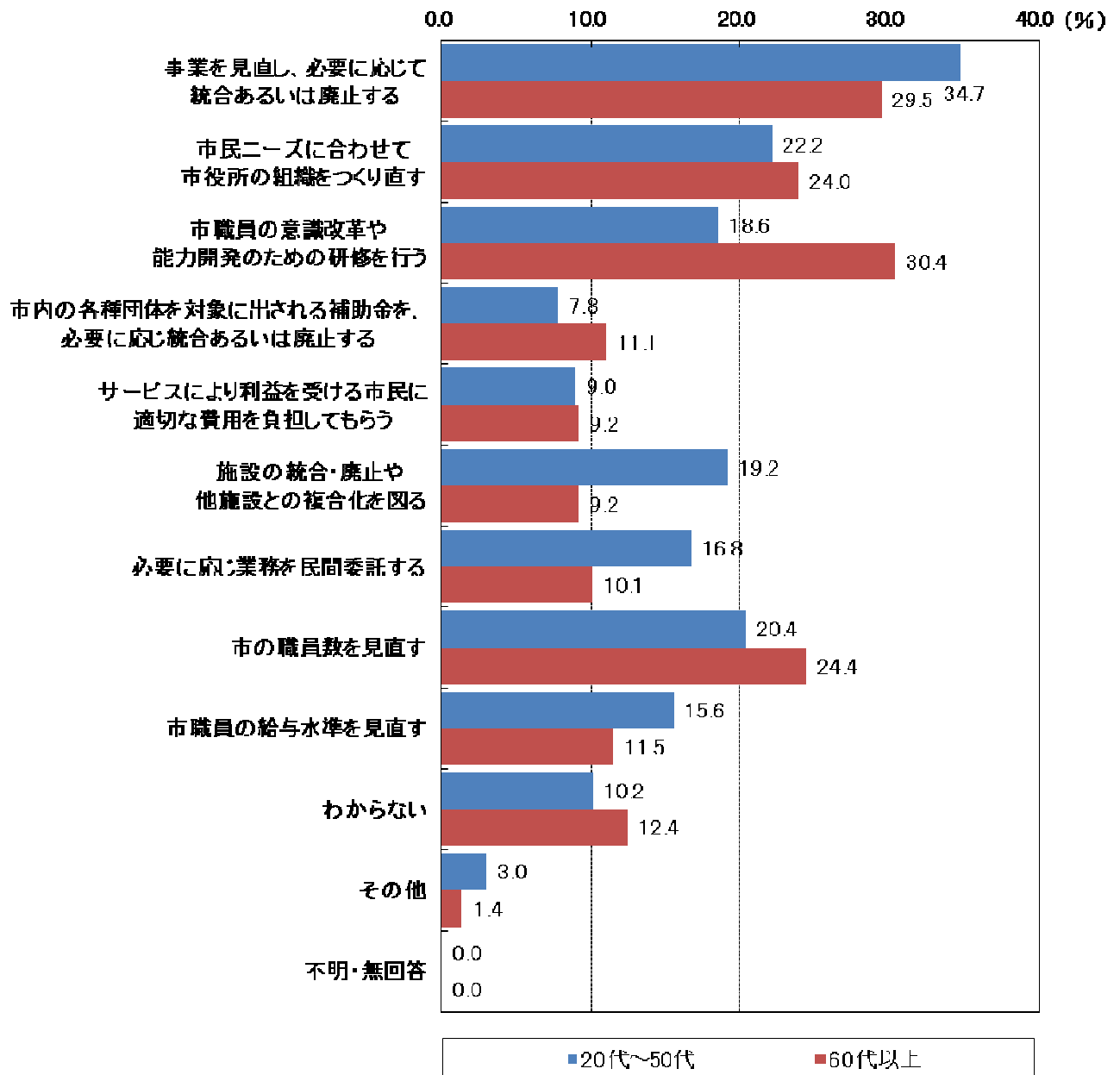


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
若い人材の活用
職員のやる気、覚悟
外部からの人材を登用する
議会改革の推進

問27×年代

効率的かつ効果的な行政サービスの提供方策を年代別に見ると、「10代～50代」では「事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」の割合が最も高く、次いで「市民ニーズに合わせて市役所の組織をつくり直す」の割合が高くなっており、「60代以上」では「市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う」の割合が最も高く、次いで「事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」の割合が高くなっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

4. 暮らしの満足度と今後の重要度について

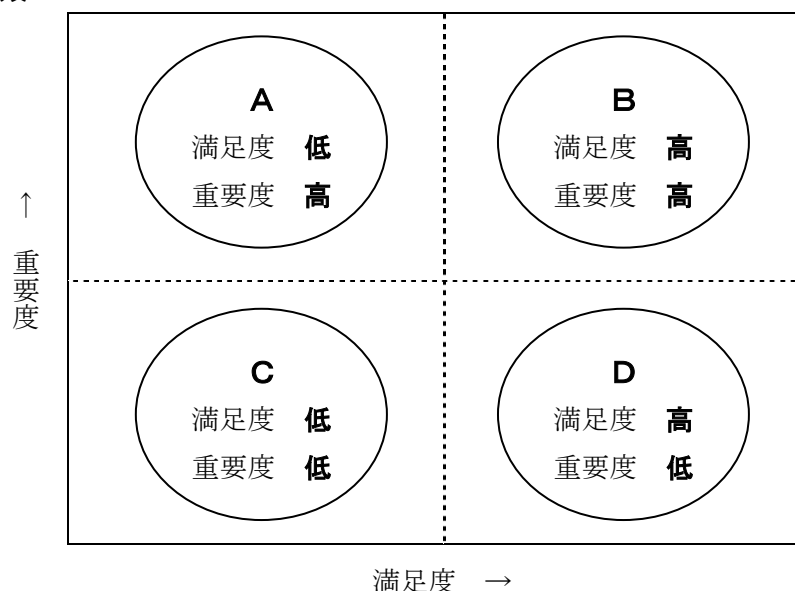
問28 市が実施している取り組みやサービスについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」をお聞かせください。

満足度の点数化については、「満足」＝5点、「どちらかといえば満足」＝4点、「普通」＝3点、「どちらかといえば不満」＝2点、「不満」＝1点として、「わからない」「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

重要度の点数化については、「重要」＝5点、「どちらかといえば重要」＝4点、「普通」＝3点、「どちらかといえば重要でない」＝2点、「重要でない」＝1点として、「わからない」「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

市の取り組みやサービスの分野 39 項目について、上記の基準で点数化し、散布図に落とし込みました。

■結果の分類



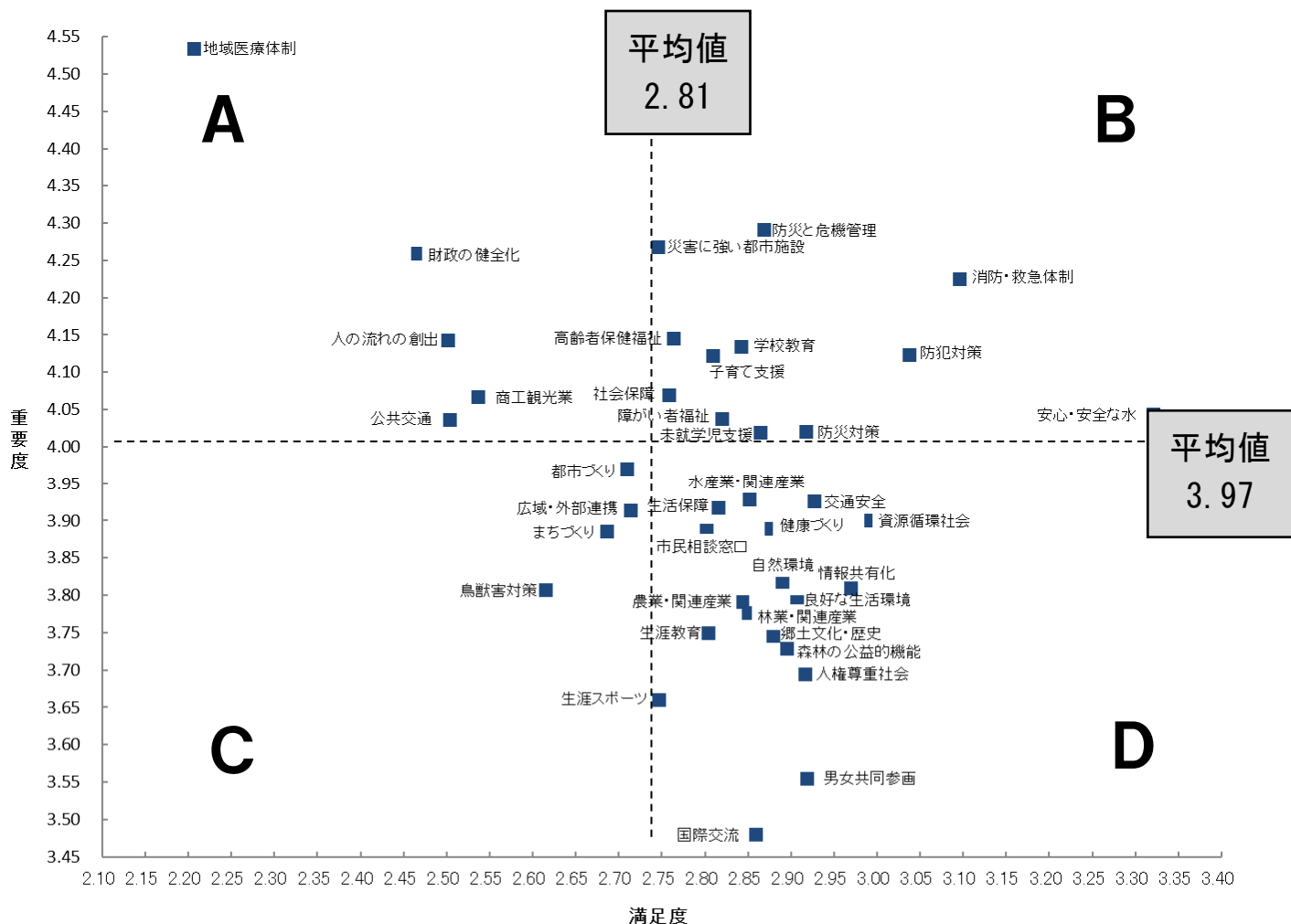
領域	説明
A	重要度が高いにも関わらず、満足度が低く、優先して充実が求められている項目
B	満足度も重要度も高いため、継続して充実する必要がある項目
C	満足度も重要度も低いため、他の項目の優先順位を勘案しながら、満足度を向上していくべき項目
D	満足度は高く、重要度が低いため、今後場合によっては満足度の低い他の項目へ優先順位をシフトしていくことを検討する必要がある項目

※上記の領域については、あくまで 39 項目の中の相対的な位置関係を示すために便宜上設定した分類であるため、A～Dは絶対的な区分ではありません。

■満足度・重要度の散布図

満足度と重要度の散布図について、「地域医療体制」「財政の健全化」「人の流れの創出」などがAの領域に分類され、今後優先して充実することが求められている項目となります。

一方で、「国際交流」「男女共同参画」「人権尊重社会」などがDの領域に分類されています。



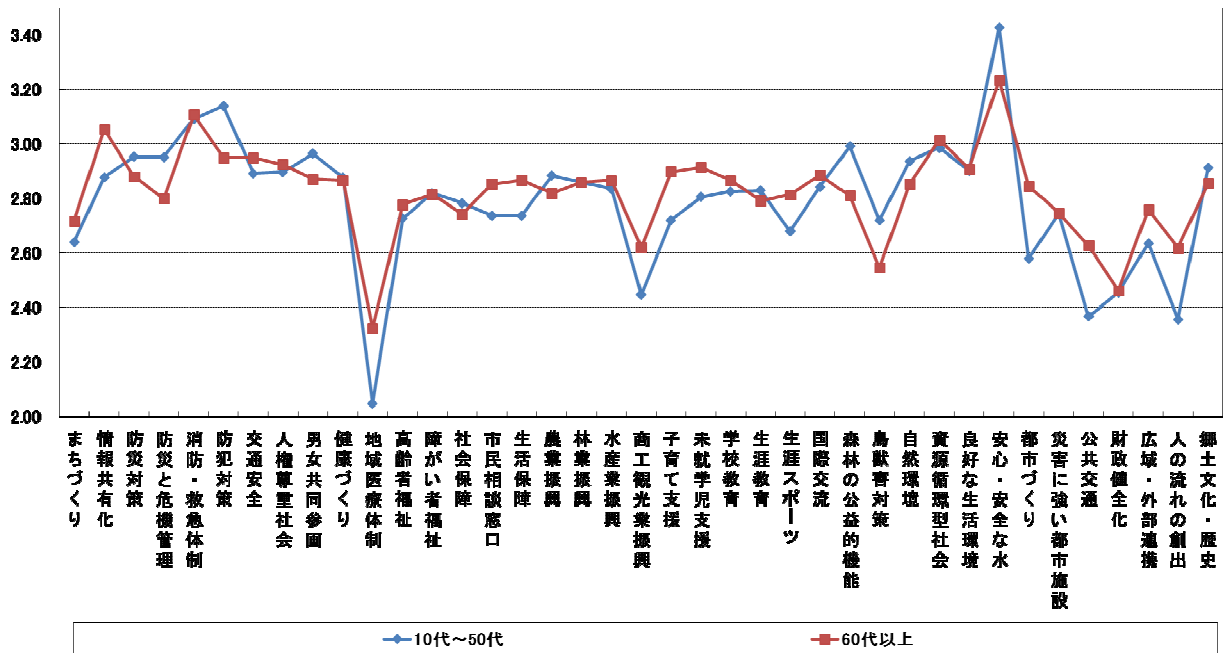
■満足度・重要度一覧

	満足度	重要度
(1) 市民参加によるまちづくり 地域課題を解決するため、共に話し合い、活動している取り組みなど	2.69	3.89
(2) 情報共有化 広報紙、市ホームページなどによる行政情報の提供など	2.97	3.81
(3) 市民参加による防災対策 防災体制づくりの自立的・持続的な取り組みや、安全で安心な取り組みなど	2.92	4.02
(4) 防災と危機管理 土砂災害や雨水浸水などに対応できる都市基盤、避難場所、防災情報の提供、自主防災組織の整備、広域自治体間協力など	2.87	4.29
(5) 消防・救急体制 火災や地震災害等における消火・救急・救助活動確保のための人員体制及び車両・資機材の整備、また、応急手当の普及講習、消防団との連携など	3.10	4.23
(6) 防犯対策 犯罪の不安を感じる事のない安全で安心な取り組みなど	3.04	4.12
(7) 交通安全 交通安全意識が高まり、交通事故に遭わない、交通事故が起きない取り組みなど	2.93	3.93
(8) 人権尊重社会 人権に関する学習会や人権相談など、一人ひとりが互いに人権を尊重し合う取り組みなど	2.92	3.69
(9) 男女共同参画の推進 性別にとらわれず、それぞれのライフスタイルや価値観を尊重し合う取り組みなど	2.92	3.55
(10) 健康づくり ライフステージに応じた健康づくり事業、母子保健事業・介護予防事業など	2.88	3.89
(11) 地域医療体制 尾鷲総合病院の診療体制や設備、地域内の医院・診療所など	2.21	4.53
(12) 高齢者保健福祉 いつまでも元気に社会のなかで活躍し、介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らすことができる取り組みなど	2.76	4.15
(13) 障がい者福祉 自立支援などの福祉サービスにより、住み慣れた地域で暮らせる取り組みなど	2.82	4.04
(14) 社会保障の確保 安心して生活ができる、社会保障制度が健全に運営される取り組みなど	2.76	4.07
(15) 市民相談窓口の確保 必要ときに適切な相談を受けることができる取り組みなど	2.80	3.89
(16) 生活保障の確保 必要ときに適切な支援を受けることができる取り組みなど	2.82	3.92
(17) 農業振興 さまざまな形態の農業活動が行われ、農地の保全・管理、活用がされる取り組みなど	2.84	3.79
(18) 林業振興 経営基盤が強化され、施業を継続的に実施できる取り組みなど	2.85	3.78
(19) 水産業振興 水揚げ量の拡大、生産体系の見直しや生産性及び付加価値の向上により、水産業が持続できる取り組みなど	2.85	3.93
(20) 商工観光業振興 活発な産業活動により、魅力ある雇用の場が創出される取り組みなど	2.54	4.07
(21) 子育て支援 保育サービス、子育てに関する相談体制や情報提供、放課後の子どもの安全な活動場所などの環境づくりなど	2.81	4.12
(22) 未就学児支援 未就学児が健やかに成長できる取り組みなど	2.86	4.02
(23) 学校教育 一人ひとりの個性や能力を伸ばし、確かな学力、豊かな心、健康な体づくりにより、笑顔いっぱいの子どもを育む取り組みなど	2.84	4.14
(24) 生涯教育の推進 文化・生涯学習を行うための設備の管理、その指導者の育成支援など	2.80	3.75
(25) 生涯スポーツの推進 年齢、体力、好みに応じて多くのスポーツに触れ、楽しくスポーツが親しめる取り組みなど	2.75	3.66
(26) 国際交流の推進 多様な交流ができ、国際感覚豊かな人づくりがされる取り組みなど	2.86	3.48
(27) 森林の公益的機能 適正に管理・保全され、森林の公益的機能が確保される取り組みなど	2.89	3.73

(28)鳥獣害対策の推進 野生鳥獣との共生を図り、鳥獣害が発生しない取り組みなど	2.62	3.81
(29)自然環境 自然環境や生態系に配慮し、良好な自然が残る取り組みなど	2.89	3.82
(30)資源循環型社会の推進 ごみの発生抑制・再利用・再生利用が進んだ、環境に負荷をかけない取り組みなど	2.99	3.90
(31)良好な生活環境の保全 環境負荷を低減し、快適な生活が営める取り組みなど	2.91	3.79
(32)安全・安心な水の確保 安全で安心な水が安定供給される取り組みなど	3.32	4.04
(33)都市づくり 安心して暮らせる都市基盤が整備される取り組みなど	2.71	3.97
(34)災害に強い都市施設 災害に強い都市施設により、安心して快適に暮らせる取り組みなど	2.75	4.27
(35)公共交通 安全で利便性が高く、環境にやさしい公共交通により快適に暮らし、移動ができる取り組みなど	2.50	4.04
(36)財政の健全化 行政組織のスリム化などの構造改革、財政運営の見直し、職員の意識改革を行い、持続可能な行政体質への変革を図るなど	2.47	4.26
(37)広域・外部連携の推進 近隣市町や産学官の連携、共創による新たなまちづくりがされる取り組みなど	2.71	3.91
(38)人の流れの創出 多くの市民が住み続けたいと思い、市外の人も住み続けたいと思えるまちとなるような定住移住に対する取り組みなど	2.50	4.14
(39)郷土文化・歴史の保存と継承 文化財の適切な保存・管理や、次世代への文化継承に対する取り組みなど	2.88	3.75
平均	2.81	3.97

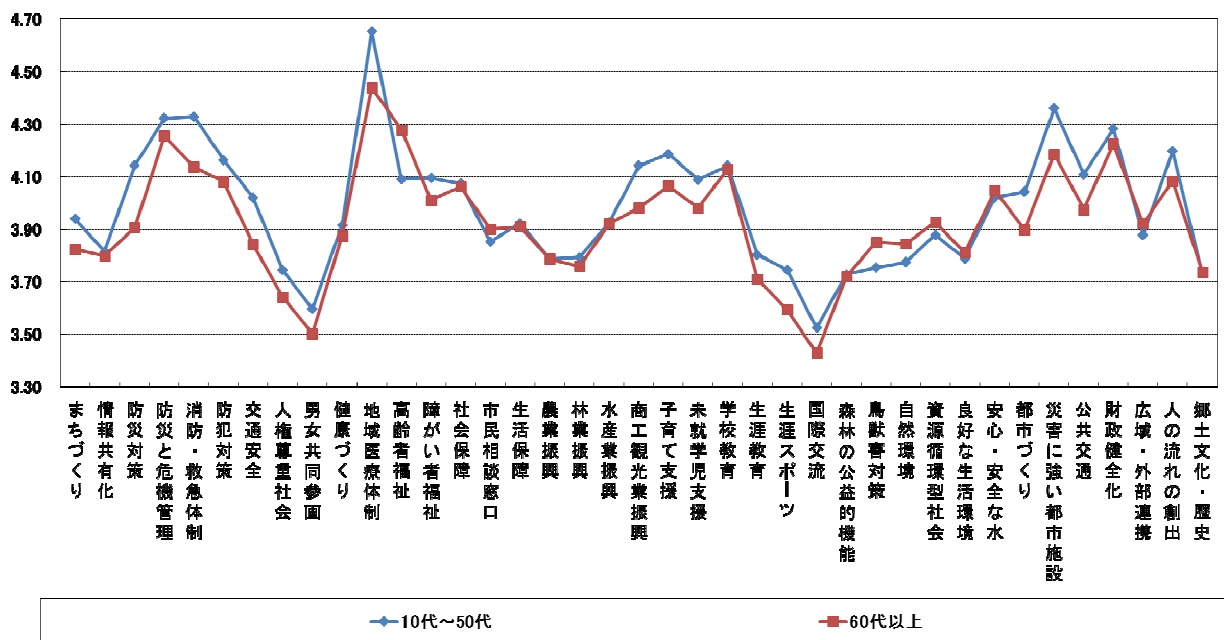
■満足度×年代

満足度について年代別に見ると、全年代で「安心・安全な水」の数値が高くなっており、次いで「10代～50代」では「防犯対策」が、「60代以上」では「消防・救急体制」の数値が高くなっています。



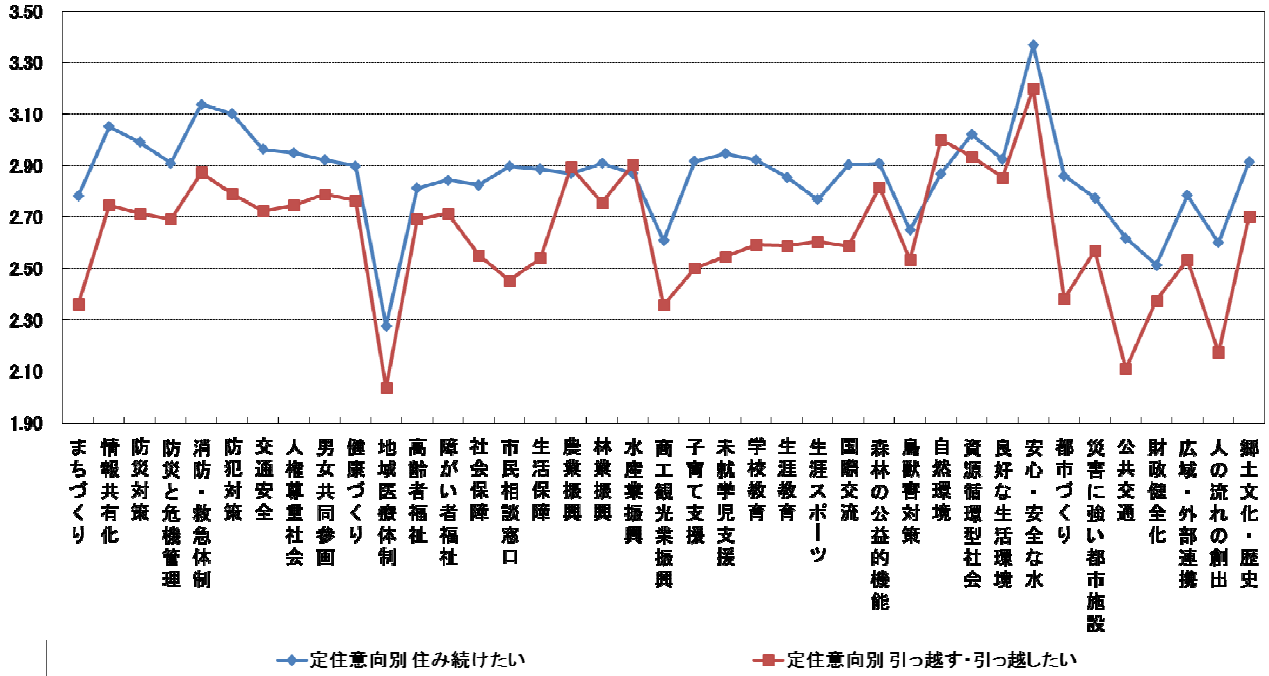
■重要度×年代

重要度について年代別に見ると、全年代で「地域医療体制」の数値が高くなっており、次いで「10代～50代」では「災害に強い都市施設」が、「60代以上」では、「高齢者福祉」の数値が高くなっています。



■満足度×定住意向

満足度について定住意向別に見ると、ほとんどの項目で「住み続けたい」の方が高い数値となっています。一方で、「農業振興」「水産業振興」「自然環境」などでは、「引っ越す・引っ越したい」を選んだ方の数値が高くなっています。



■重要度×定住意向

重要度について定住意向別に見ると、定住意向に関係なく「地域医療体制」の数値が最も高く、次いで「住み続けたい」を選んだ方は「防災と危機管理」の数値が高くなっており、「引っ越す・引っ越したい」を選んだ方は「財政健全化」の数値が高くなっています。

